

輝く“ふくろい”
まち・ひと・しごと創生総合戦略

やらまいかREPORT2018

進捗状況報告書【平成29年度版】



【写真】ラグビーワールドカップ2019™試合日程発表会パブリックビューイングin袋井／本市での日本代表戦開催決定！！

平成30年9月
袋井市

目次

第1章 全体のまとめ	2
第2章 人口動態	3
第3章 総合戦略 [3つの挑戦／政策パッケージ]	
挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦	5
◇ふくろいトピックス1～5	11
挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦	13
◇ふくろいトピックス6	18
挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦	19
◇ふくろいトピックス7	24
第4章 戦略を支える取組 [第2次総合計画]	25
第5章 地方創生交付金等の活用状況	27
◇ふくろいトピックス8～10	31
第6章 参考資料 [やらまいか通信 (抜粋)]	35

第1章 全体のまとめ

1 人口動態の概要

- (1) 本市人口は87,938人（H30.4.1現在、前年対比381人増）と増加し、人口ビジョンで設定した目標人口推計を上回る結果となった。
- (2) 合計特殊出生率は「1.64」となり、0.05ポイント低下した。若年女性人口の減少は続いているものの、出生数は昨年度から63人増加し、900人台に回復した。しかしながら、子育て世代（30～40歳代前半）の市外転出超過は減少傾向にあるものの、依然として続いており、引き続き転出の抑制に向けた対策が必要。
- (3) 県人口推計（H30.4.1現在）では、県全体人口は3,658,696人、平成27年国勢調査（H27.10.1）から41,609人（1.1%）の減少。人口増加は、本市をはじめ3市2町のみ。

2 戦略（政策パッケージ）の概要

総合戦略では、本市の人口ビジョンに掲げる将来目標人口の実現や総合計画の早期実現に資する取組を加速させるほか、人口減少を抑制していくための「抑制戦略」と人口が減少する社会においても市民が快適に暮らし続けられるための「適応戦略」を“3つの挑戦（政策パッケージ）”として掲げ取り組んでいる。

■ 3つの挑戦の平成29年度トピックス [全13取組のうち、10取組が順調、3取組が着手]

挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

- (1) 電子黒板機能付きプロジェクターの整備など、ICT教育環境の充実を図った。
- (2) ラグビーワールドカップ2019™に向け、静岡理科大学と「大学公開講座100回記念公演」共催やAR活用ラグビー体験システムの展示など、積極的な連携を行った。
- (3) 袋井市静岡モデル防潮堤整備事業と連携して整備を進める「豊沢工業団地」にトッパン・フォームズ東海（株）、トッパン・フォームズ・サービス（株）の進出が決定した。
- (4) 「まちの国際化」実現に向け、国際交流に参加する市民を「ハローフレンド」として募集するとともに、「ふくろい版ホームステイ」トライアルや交流イベントを開催した。

挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

- (1) ラグビーW杯開催期間を想定したモニターツアーとして、「ふくほまれ収穫体験と豆腐づくり体験モニターツアー」など4本を企画・実施した。
- (2) 国内での売上げが低下する夏場の需要創出を目的に、農産物の海外輸出の拡大に向け、香港においてクラウンメロンケーキを商品化し、4～8月の期間限定で販売を行うとともに、市長トップセールスによるPRを行った。その結果、4～8月のクラウンメロン支所売上金額は前年比で約3,800万円増加し、夏場の需要創出につながった。

挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

- (1) 市内の関係13団体と「ふくろい生涯現役促進地域連携協議会」を設立するとともに、厚労省から「生涯現役促進地域連携事業」の採択を受け、「ふくろいTaskAr network事務局」を開設し、「大人の社会科見学」や「しごと体験」等を実施した。
- (2) 働く世代を中心に健康づくりへの取組を強力に推進するため、市内企業との連携により健康管理システム（アプリ）「#2961（ふくろい）ウオーク」を開発するとともに、健康ポイント制度をリニューアルした。

3 戦略の推進について

本戦略の推進にあたっては、総合計画の評価と併せ、施策の進捗や効果等について評価し、「輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議」を中心に幅広い分野の方々の意見を伺いながら、PDCAサイクルによる継続的な改善を図り、地方創生の実現に向けて常に戦略の進化を追求していく。

第2章 人口動態

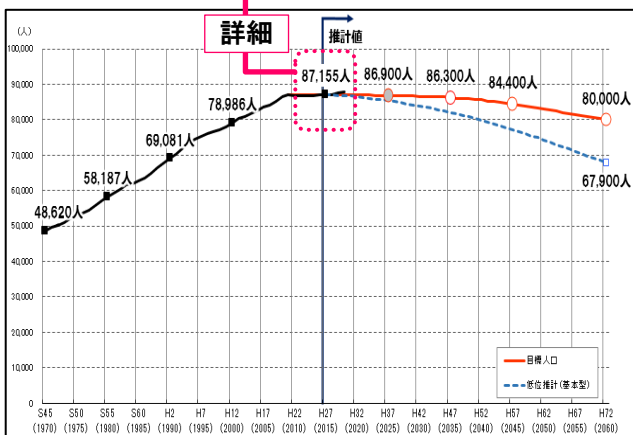
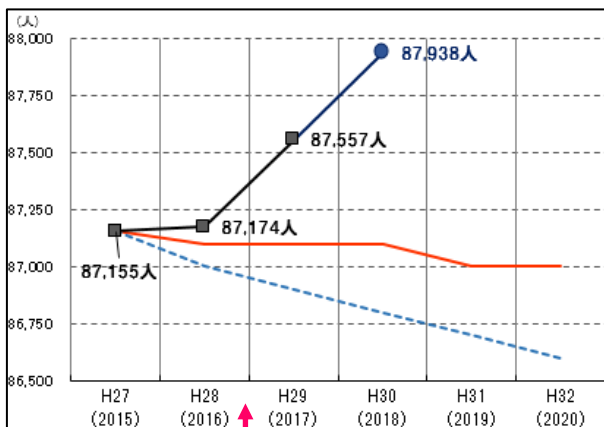
1 現状と課題

- (1) 本市人口は87,938人（H30. 4. 1 現在、前年対比381人増）と増加し、人口ビジョンで設定した目標人口推計を上回る結果となった。
- (2) 合計特殊出生率は「1.64」となり、0.05ポイント低下した。若年女性人口の減少は続いているものの、出生数は昨年度から63人増加し、900人台に回復した。しかしながら、子育て世代（30～40歳代前半）の市外転出超過は減少傾向にあるものの、依然として続いており、引き続き転出の抑制に向けた対策が必要。
- (3) 県人口推計（H30. 4. 1 現在）では、県全体人口は3,658,696人、平成27年国勢調査（H27.10.1）から41,609人（1.1%）の減少。人口増加は、本市をはじめ3市2町のみ。

2 人口推計【3区分別人口】（平成30年4月1日現在）

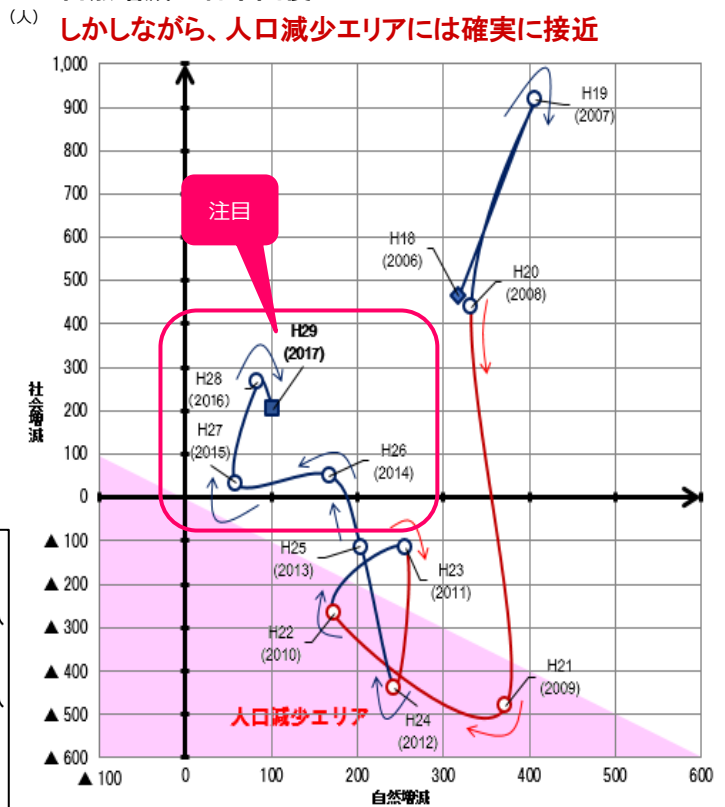
図表1 人口推移と3区分別人口の推移

人口は増(前年比381人増)だが…
少子高齢化は進行(年少▲0.1%・老年+0.5%)



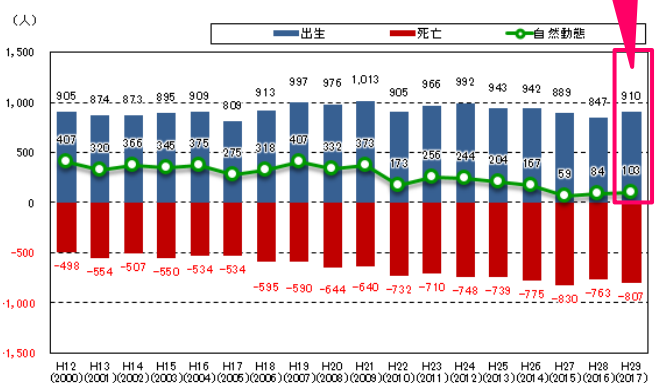
図表2 自然増減と社会増減

自然増減は若干回復
しかしながら、人口減少エリアには確実に接近



図表3 自然増減推移

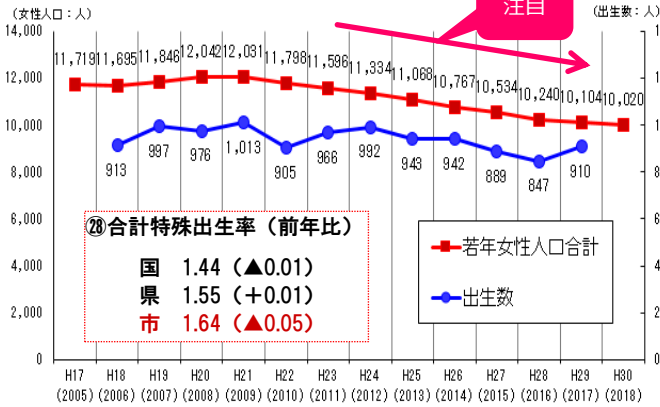
自然増減は100人台に回復
出生数は昨年よりも63人増加



3 出生に関する状況（出生数の推移）

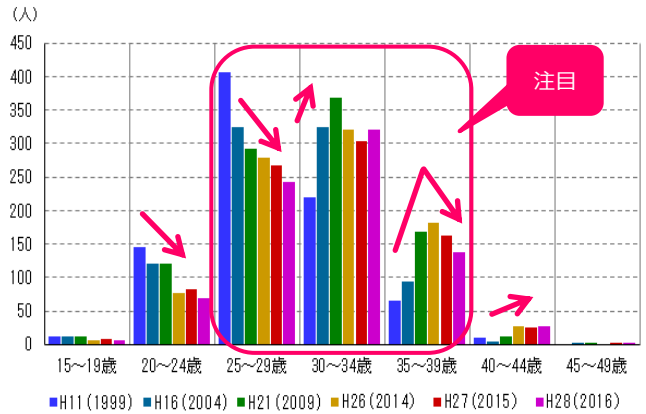
図表4 若年女性人口と出生数推移

合計特殊出生率は国・県より高いものの0.05%低下
若年女性人口は減少が続く



図表5 母親の5歳階級別出生数の推移

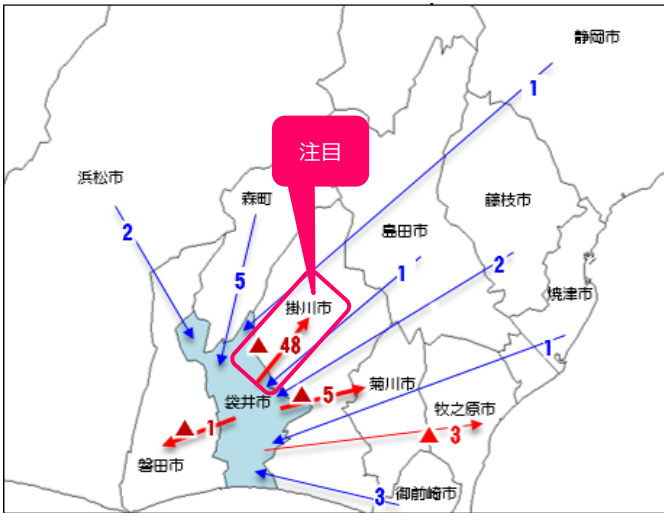
20代の出産は減少、30代前半最多、40代前半も微増
晩婚・晩産傾向は依然強い



4 子育て世代の動向（5歳階級別男女増減数）

図表6 子育て世帯（0～9歳）の近隣市町への転出入状況（H29）

子育て世帯の近隣市への転出超過が続く



図表7 5歳階級別増減人数

子育て世帯（0～9歳）の転出は減少しているが依然続く

年少	H25	H30	増減
0～4歳	4,685	4,249	-
5～9歳	4,562	4,524	▲161
10～14歳	4,330	4,538	▲24
15～19歳	4,077	4,294	▲36
20～24歳	4,445	4,228	151
25～29歳	5,694	4,872	427
30～34歳	6,367	5,959	265
35～39歳	6,814	6,286	▲101
40～44歳	6,410	6,712	▲102
45～49歳	5,082	6,331	▲79
50～54歳	5,024	5,060	▲22
55～59歳	5,595	5,031	7
60～64歳	6,439	5,557	▲38

5 他都市との比較（袋井市のポジショニング）

図表8 県人口推計（H30.4）とH27国勢調査（H27.10）比較

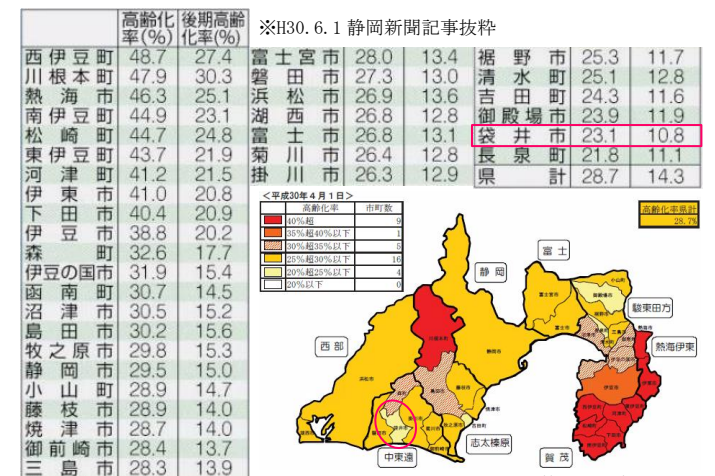
県内30市町で人口減少、増加は3市2町のみ

増加人数（人）	増加率（%）
1 袋井市 743	1 長泉町 1.1
2 長泉町 484	2 袋井市 0.9
3 清水町 106	3 清水町 0.3
4 掛川市 100	4 菊川市 0.2
5 菊川市 86	5 掛川市 0.1

減少人数（人）	減少率（%）
1 静岡市 -8,698	1 川根本町 -7.5
2 沼津市 -4,535	2 西伊豆町 -7.3
3 浜松市 -4,076	3 松崎町 -6.1
4 富士市 -2,578	4 下田市 -5.7
5 焼津市 -2,009	5 東伊豆町 -4.8

図表9 県内高齢化率調査（H30.4.1現在）

県は過去最高の28.7%、本市は23.1%（23市で一番「若いまち」）



挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

人を惹きつける地域資源を活用し、若者が魅力を感じ、集い、住みたい、住み続けたいなど、若い世代を呼び込めるまちづくりに挑む。

取組1 ICT教育環境の充実

子どもたちの自ら学ぶ力を養い、教職員が子どもとふれあう時間を確保することで、学力の向上に資すると共に、心ゆたかで個性と創造性に富み、21世紀を生き抜く力を持った子どもを育成するため、ICT教育環境の充実を図る。

■わかりやすい授業の実践

授業におけるユニバーサルデザインを推進し、児童生徒の学習意欲と「確かな学力」を向上させる。

■校務の合理化・効率化の推進

児童生徒との触れあいや教材研究の充実を図るため、多様化している校務の合理化と効率化を推進する。



[写真] ICT機器を活用した授業

取組2 未来を拓く「遠州商人」の育成

将来の地域産業や経済を担う人材を育成するため、より実践的な職業教育を行う新たな高等教育のあり方として、中学卒業後の5年一貫教育を推奨し、タフでグローバルな感覚を持った起業人の育成など郷土を愛する遠州商人を創出させる。

■袋井商業高等学校5年制化の推進

「袋井商業高等学校の5年制化」を提唱し、全国で初となる公立商業高校の高等専門学校の新設を含め、その実現に向けた働きかけを行う。

取組3 静岡理工科大学との連携強化

地域や企業との連携を強化し、新技術や新製品等の創出に繋がる共同研究を支援する。

また、地域との交流や地域課題への取組を通じて、地域への愛着を育む。

■新しい事業の創出支援

静岡理工科大学と市内企業との交流を深め、新技術や新製品等の創出に繋がる共同研究を支援する。

■地域課題解決型“地（知）の拠点事業”の推進

大学を地域における知的拠点と捉え、地域の課題解決に向けた連携をさらに強化し、学内の知的資源をフル活用する。



[写真] 静岡理工科大学「Rikejo Café」

取組4 内陸フロンティアを拓く取組の進化

防災・減災対策の充実・強化と地域資源を活用した新しい産業の創出と集積に加え、袋井らしいライフスタイル実現の場の創出を目指し、内陸フロンティアを拓く取組を進化させる。

■袋井らしいライフスタイルの創出

継続的に趣味が実現できる場の創出に向け、公園など公共施設の活用方法を見直し、豊かな自然や農業資源の活用を図る。また、地域への愛着と人の絆など、定住の促進を図る。

■創業希望者の支援

地域の創業希望者を支援することで創業を促進し、地域経済の活性化及び雇用の確保を目指す。

■魅力的な工業用地の確保

将来にわたる地域雇用の場を確保するため、優良企業の立地を促す工業用地を創出する。

[写真] 造成中の豊沢工業団地



取組5 安心して子どもが産み育てられる環境づくり

若者が結婚を機に本市に新居を構え、出産子育ての時期を、安心して楽しく過ごすことができるよう家庭、地域、企業、行政がそれぞれの役割を担いながら連携・協力し、妊娠、出産、子育てまでの段階に応じた多様な支援を行う。

[写真左] 育ちの森

[写真右] 笠原こども園



■アクティブ育児応援プログラム推進事業

幼少期の多様な動きの習得や親子の触れ合い機会創出など、アクティブな育児環境を実現させる。

■子ども・子育て支援エリアの充実

子ども・子育て支援の一体的なエリアとして施設を集約し、連携強化と機能の充実を図る。

■子育て世代包括支援センターの開設

母子保健の総合相談窓口を開設し、妊娠期～子育て期の支援体制を強化する。

[写真] 子育て世代包括支援センター



取組6 シティプロモーションの充実・強化

“誇りと愛着のもてるまち”を目指し、自らがシティプロモーションの担い手となって袋井の魅力を磨き、育て、発信できる仕組みを設けるとともに、全国・世界を視野に、本市の都市ブランド力を向上させ、移住・交流人口の増加につなげる活動を展開する。

■「魅力ある袋井」を発信できる人材の育成

[写真] 市民映画「マジックタウン」

本市の潜在性（ポテンシャル）を引き出し、自らが語り部となって情報発信できる人材を育成する。また、多様なまちの魅力を発信し共感し合う市民の輪を広げ、新たな地域文化を創造する。



■全国・世界に向けた情報発信力の強化

[写真] ふくろい版ホームステイ

人口の首都圏一極集中を打開するため、移住希望者を視野に情報発信する。また、本市周辺の大学や専門学校などに留学している外国人の協力のもと、本市の存在を世界に向けてアピールし、交流人口の増加を促す。



挑戦1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

1 現状と課題

- (1) 「ICT教育環境の充実」については、デジタル教材を駆使したわかりやすい授業の実践を推進するため、2中学校（周南中・浅羽中）へ「電子黒板機能付きプロジェクター」等を、育ちの森へ「不登校児童生徒個別学習用タブレット」等を導入した。本年度、残りの2中学校（袋井中・袋井南中）へ導入することで、市内の全小学校・中学校への整備が完了する。また、未来を先取る教育として、中高生向け「アプリ開発セミナー」を開催した。
- (2) 「未来を拓く『遠州商人』の育成」については、「袋井商業高等学校5年制化」の推進を図るため、平成28年度に県知事及び県教育長に対し「要望書」の提出を行った。それを受け、県教育委員会が平成29年7月19日に「商業教育高度化対応研究委員会」を設置、以後3回の会議において、具体的な対応を検討中。引き続き、国の動向などを注視するとともに、早期実現に向け県と連携し、対応していく。
- (3) 「静岡理工科大学との連携強化」については、袋井市産学官連携推進協議会が「袋井市産学官交流会」を開催した。また、「袋井市と静岡理工科大学との包括連携に関する協定書」（平成25年6月締結）に基づいた取組として、「地域学講座」や「お理工塾」を開催したほか、「Rikejo Café」（静岡理工科大学の女子学生中心のグループ）が、愛野エリアのおすすめスポットをまとめた冊子を発行するとともに、「ろうきん住宅フェスティバル」において、本市の定住促進と一体的にPRを行った。その発展形として、エコパ周辺飲食店7店舗とラグビー盛り上げ創作メニュー「ラ☆ガールメニュー」の開発を行った。この他にもラグビーワールドカップ2019™に向けた事業として、ヤマハ発動機ジュビロの清宮克幸監督を講師に招聘し、「大学公開講座100回記念公演」を大学・市共同で開催したほか、情報学部の定国研究室が開発したAR活用ラグビー体験システム「ラガーマー」の市役所展示を行った。今後も、地域産業の活性化など、様々な分野で実践型の連携を深めていく。
- (4) 「内陸フロンティアを拓く取組の進化」については、袋井市静岡モデル防潮堤整備事業と連携して整備を進める「豊沢工業団地」にトッパン・フォームズ東海（株）、トッパン・フォームズ・サービス（株）の進出が決定した。この他にも小笠山山麓開発事業では、進出の申し出が1社あったことから、今後は、進出に向けた諸課題を調整していく。また、創業希望者等を対象として、「創業セミナー」などを実施したほか、創業希望者や中小企業の支援拠点である「静岡県よろず支援拠点西部地区袋井サテライトオフィス」が相談等の支援を行った。さらに、（株）大和コンピューターが、静岡理工科大学及び自社農場で「サテライトオフィス研修プログラム」を実施した。
- (5) 「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」については、本市公立初となる認定こども園「笠原こども園」を開園したほか、子ども・子育て支援エリア「育ちの森」や妊産婦・子育て世代のワンストップ相談窓口「子育て世代包括支援センター」による相談・支援、様々な子育て情報を入手できる「子育て応援アプリ（フッピーのぼっけ）」による情報発信等により、きめ細やかな子育て支援を行った。
- (6) 「シティプロモーションの充実・強化」については、「まちの国際化」実現に向け、国際交流に参加する市民を「ハローフレンド」として募集・登録（平成29年度末登録者数512人）するとともに、「ふくろい版ホームステイ」トライアルや交流イベントを開催した。また、静岡文化芸術大学との連携により、グローバルコミュニケーションデザインを作成したほか、ラグビーワールドカップ2019™に向けた情報発信のための海外メディア招聘ツアーを実施した。この他にも、ふくろい市民映画「マジックタウン」が市内外23か所で上映された。

2 主な取組の進捗状況

☆…地方創生交付金活用事業

取組名	進捗状況					進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	難航	達成		
1-1 ICT教育環境の充実						<ul style="list-style-type: none"> ○電子黒板機能付きプロジェクター及びデジタル教材を周南中・浅羽中へ各21台配備☆ ○育ちの森へ不登校児童生徒個別学習用タブレット10台及びプロジェクター1台を配備☆ ○中高生向けアプリ開発セミナー開催(9/16～、全6回、参加者13人)☆ 	教育企画課 学校教育課 育ちの森 ICT街づくり課
1-2 未来を拓く「遠州商人」の育成						<ul style="list-style-type: none"> ○H27年度末に県知事及び県教育長に「要望書」提出、県教育委員会が研究会(H29年度3回開催)で具体的な対応を検討中 	市長公室
1-3 静岡理科大学との連携強化						<ul style="list-style-type: none"> ○建築学科開学(県内初) ○ラグビーをテーマにした大学公開講座100回記念公演大学・市共同開催(5/20) [講師]ヤマハ発動機ジュビロ 清宮克幸監督 ○「地域学講座」開催(全4回、40人参加) ○お理工塾開催(3会場、54人参加) ○Rikejo Caféが、愛野紹介Map「Do You Know? I Know!」発行、ろうきん住宅フェスティバルで定住促進と一体的にPR ○Rikejo Caféがエコパ周辺飲食店7店舗とラグビー盛り上げ創作メニュー「ラ☆ガールメニュー」を開発 ○ARを活用したラグビー体験システム「ラガーマー」の開発・市役所展示(定国研究室開発) ○「袋井市産学官交流会」開催(2/7) 	企画政策課 産業政策課 生涯学習課 市長公室
1-4 内陸フロンティアを拓く取組の進化						<ul style="list-style-type: none"> ○トッパン・フォームズ東海(株)、トッパン・フォームズ・サービス(株)が豊沢工業団地へ進出決定(H31竣工予定)、小笠山山麓開発事業へ1社進出申し出、今後進出に向け諸課題を調整 ○県よろず支援拠点西部地区袋井サテライトオフィスによるきめ細やかな支援 ○創業支援事業の実施☆ <ul style="list-style-type: none"> ・創業相談会(月1回/22人相談) ・創業セミナー(2回、28人参加) ・創業塾(全6回、8人参加) ○「サテライトオフィス研修プログラム」の実施(9/6-12、(株)大和コンピューター、静岡理科大学・自社農場) 	産業政策課 建設課 都市整備課 スポーツ推進課 農政課 市長公室 ICT街づくり課
1-5 安心して子どもを産み育てられる環境づくり						<ul style="list-style-type: none"> ○認定こども園「笠原こども園」開園(公立初) ○子育て応援アプリ(H29末登録者数4,173件) ○育ちの森、子育て世代包括支援センターによる相談・支援 ○親子うんどうあそび教室開催(29組参加) 	すこやか子ども課 育ちの森 健康づくり課 スポーツ推進課 地域包括ケア推進課
1-6 シティプロモーションの充実・強化						<ul style="list-style-type: none"> ○ふくろい版ホームステイ推進(トライアルホームステイ3回実施)、「ハローフレンド」(国際交流へ参加する人)H29年度末登録者数512人☆ ○国際交流・多文化共生に向けたグローバルコミュニケーションデザイン作成(12デザイン)☆ ※静岡文化芸術大学との連携 ○シティプロモーション動画等作成☆ ○国際交流イベント「ハローフレンドThanks Day」開催(11/23)☆ ○海外メディア招聘ツアー実施(6つの国・地域から7社8人のメディアが参加)☆ ○ふくろい市民映画上映(市内20、市外3箇所) 	企画政策課 生涯学習課 市民協働課 (H30～協働まちづくり課)

3 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😄 概ね順調 😊 低調 😞]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

1-1 ICT教育環境の充実

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
授業がよく分かると答える児童の割合 [↑]【出典：学校教育課】	%	— (H26)	88.0	91.0	89.1		90.0	😊
全国規模の学力調査で全国平均を上回る 科目の割合(小6)[↑]【出典：第2次総合計画】	%	50.0 (H26)	20.0	100.0	0		100.0	😞

1-2 未来を拓く「遠州商人」の育成

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
袋井商業高等学校の5年制化の実現 【出典：市長公室】	—	3年制 (H26)	県知事 要望	県検討	県検討 (研究会開催)		実現	😊

1-3 静岡理工科大学との連携強化

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
静岡理工科大学と市内企業の 産学交流研究数(5年間累計) [↑]【出典：第2次総合計画／工業振興計画】	件	15 (H22~26累計)	4 (H27)	7 (H27~28累計)	11 (H27~29累計)		20	😊
若者など市民を対象にした学習機会 [↑]【出典：生涯学習課】	回	30 (H26)	38	36	43		50	😊
大学生との協働活動の実施件数 (5年間累計) [↑]【出典：企画政策課】	回	1 (H26)	2 (H27)	4 (H27~28累計)	8 (H27~29累計)		10	😊

1-4 内陸フロンティアを拓く取組の進化

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
利用を特化した公園数 [↑]【出典：都市整備課】	箇所	0 (H26)	特化内容 検討	特化内容 検討	試行 (1箇所)		3	😊
公園を利用した展示、販売等のイベント数 [↑]【出典：都市整備課】	回	1 (H26)	4	3	2		6	😞
体験ツアー等参加者数 [↑]【出典：スポーツ推進課】	人	— (H26)	3,300	3,400	3,200		10,000	😞
農業体験ツアー開催数 [↑]【出典：農政課】	回	— (H26)	2	3	3		5	😊
創業件数 (卸・小売業・サービス業／5年間累計) [↑]【出典：第2次総合計画】	件	94 (H22~26累計)	17 (H27)	24 (H27~28累計)	36 (H27~29累計)		130	😞
新たな工業用地の創出面積(5年間累計) [↑]【出典：産業政策課／参考：工業振興計画】	ヘクタール	— (H26)	豊沢開発 造成中 (8ha)	豊沢開発 造成中 (8ha)	豊沢開発 造成中 (8ha)		14	😊

1-5 安心して子どもが産み育てられる環境づくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
運動教室への参加率(企業等の協力度) [↑]【出典:スポーツ推進課】	%	— (H26)	83.0	50.0	48.3		90.0	😞
子育てが楽しいと感じる人の割合 [↑]【出典:スポーツ推進課】	%	— (H26)	100.0	H29 調査予定	100.0		80.0	😊
子育てに関する相談(0～18歳)が切れ目 なく受けることができていると思う保護者の率 [↑]【出典:育ちの森】	%	— (H26)	92.3	100.0	100.0		90.0	😊
「育ちの森」(相談支援施設)を利用すること で子どもへの理解が深まった保護者の率 [↑]【出典:育ちの森】	%	— (H26)	88.0	94.0	94.2		80.0	😊
生後2カ月以内の赤ちゃん訪問の実施率 [↑]【出典:健康づくり計画】	%	33.2 (H26)	64.6	75.5	64.1		50.0	😊
不安や心配を抱える妊産婦(特定妊産婦・ ハイリスク妊産婦を除く)に支援を行った割合 [↑]【出典:健康づくり課】	%	18.5 (H26)	23.8	86.3	84.6		100	😊

1-6 シティプロモーションの充実・強化

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
市民情報交流サイト「いいね」の数 [↑]【出典:企画政策課】	件	— (H26)	8,830	12,557	24,082		(新)20,000 (旧)5,000	😊
市民映画観客動員数 [↑]【出典:生涯学習課】	人	— (H26)	制作 準備	完成 (H29.4～ 上映)	1,258		10,000	😞
全国地域ブランド調査における 魅力度の順位 [↑]【出典:企画政策課(地域ブランド調査結果)】	位	787 (H26)	757	574	712		300	😞

4 創生会議等における主な意見 (●…ふくろい部会、■…首都圏部会)

● 地方の大学は、豊かな自然環境や人のつながりなどに加え、少人数教育など、「学ぶ環境」という観点では優位性がある。まちの規模が小さいということは、むしろ「まちづくり」に主体的な関わりを持てるといった点が優れている。

● 会社を閉じる6～7割が後継者不足による廃業であり、年々増加している。袋井商工会議所のアンケートでも「後継者がいない」との回答が約6割。「事業引継センター」などを活用するなど、同業者による承継の促進が必要。

● 本市は、輸送機器産業でもエンジン部品関係の製造業が多く、E V 化による影響は極めて大きい。電子部品の製造やソフト産業など、新たな分野への産業構造転換が急務。

● 新たな産業の誘致や育成には、規制緩和等により「企業が望むフィールドの提供」など、企業が自らこの場所に立地したいと思わせる場づくりや「世界初」などの強力なファーストインプレッションを与えることが大事。

■ 袋井市内に立地しているエコパスタジアムを地域資源として積極的に活用していくことが大切。スタジアムをスポーツ産業などの新たなビジネス創出に向けた核として、地域に還元できる仕組みづくりを進めていくことが肝要。

■ E d T e c h (教育×技術) などの新たな取組は、袋井市の穏やかな風土や歴史観を踏まえると、柔軟性が高く、市民も受け入れやすいと思われる。それがベースとなり、様々な分野で活躍する人の育成につながれば、とても素晴らしい。

①企業連携の推進

地方創生の実現に向け、固有のノウハウやネットワークを持つ企業と連携することで、地域課題の解決や市施策効果の拡大などに加え、企業にとっても新たなビジネスチャンスの開拓に繋がるwin-winな関係づくりが期待できることから、企業との連携を積極的に推進している。



◆パナソニック株式会社アプライアンス社ランドリー・クリーナー事業部静岡工場（袋井市新池）のプロジェクトマッピング
J R東海道本線に面した工場棟南面外壁に、幅40m、高さ23m、約1,000インチで投影

◆大塚製薬株式会社との包括連携協定／平成29年11月21日締結
健康寿命の延伸やスポーツ振興などで、積極的な取組連携を図る

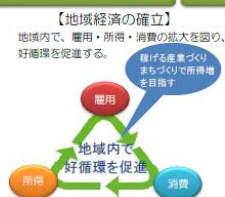


②産業経済懇話会

本市の産業のあり方やまちづくりの方向性について、中長期的な視点から、本市に精通した学識経験者や企業経営者、経済団体の方々と幅広く意見交換を行い、「稼げる産業づくり・まちづくり」を目指す。

総論（社会と技術）	ものづくり産業	商業	農業	観光	まとめ
<p>■第1回 8月4日（金） ～2030年の社会と技術の展望～</p> <p>第1部：基調講演 「人工知能・IoTが生み出す 第4次産業革命と日本の未来」 講師 尾本敏人氏</p> <p>第2部：パネルディスカッション 「科学技術や社会の大きな変化等 どこの地方の発展に繋げていくか」</p>	<p>■第2回 11月27日（月） ～ものづくり産業のイノベーション方策～</p> <p>第1部：基調講演 「地方だからできる 新しい産業づくりへの取組」 講師 萩本範文氏</p> <p>第2部：パネルディスカッション 「産業の発展前に地域のものづくり 産業ほどどう連携していくか」</p>	<p>■第3回 3月19日（月） ～地域を豊かにする商業政策とは～</p> <p>第1部：基調講演 「変化する米需小売業から読み解く 日本の流通小売業のこれから」 講師 神谷渉氏</p> <p>第2部：パネルディスカッション 「健康文化都市をリードする 食産小売業の発展と未来を語る」</p>	<p>■第4回 4月16日（月） ～成長産業としての新農業の方向性～</p> <p>第1部：基調講演 「「稼ぐ農業」への変革！ ～利益率向上のための取組～」 講師 山田敬之氏</p> <p>第2部：パネルディスカッション 「農業のビジネス化による 100年後の袋井の農業」</p>	<p>■第5回 8月6日（月） ～袋井の観光ビジネスへの道しるべ～</p> <p>第1部：基調講演 「磨き続ける地域とは 一歩先へを転換せよ」 講師 山田佳一郎氏</p> <p>第2部：パネルディスカッション 「『袋井特産 静岡産観光モテデル』を 磨くには何が必要か」</p>	<p>■第6回 調整中</p> <p>第1回～第5回までの 議論を通して、 全委員によるまとめの ディスカッションを 実施。政策等議論。</p>

◆10年先の社会を様々な角度から
議論し、本市の特性を踏まえ、
実現可能な方向感を見出す



[写真左] 第1回パネルディスカッション [写真右] 第4回基調講演

③エコパドリーム・プロジェクト

袋井市産業経済懇話会での議論を受け、ヒトや技術の新たな出会いにより、既存産業やまち（地域）のイノベーション促進を目的として、産学官（県・市）が連携し、エコパ（小笠山総合運動公園）を中心とする愛野エリアに「近未来技術を磨く実証フィールド」の創出を目指す。

④ふくろいまるごとインターナショナル

ラグビーワールドカップ2019™が、本市内に立地する小笠山総合運動公園「エコパスタジアム」を会場に開催されることは、市民が世界に目を向け、関心が高まる絶好の機会となる。これをきっかけとして、異文化や外国語に触れ、親しむ機会を増やすことで、「まちの国際化」を推進し、国際感覚や相互理解力、チャレンジ精神などを持った「ひとづくり、まち・地域づくり」を目指す。



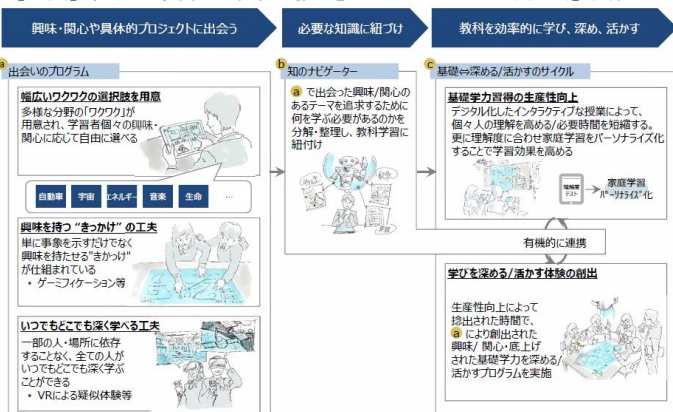
【写真左・中上】ふくろい版ホームステイトライアル 【写真中中・下】まちの色々な場面でC I Rが大活躍！ 【写真右】ハローフレンド募集

⑤「未来の教室」とEdTech研究会

国では、世界各国で進む「創造性」「課題解決力」「科学技術」などを重視した教育改革や「EdTech = Education (教育) × Technology (技術)」の実装を踏まえ、我が国の産業や地方創生の未来を切り拓く人材 (チェンジメイカー) 育成を進めるため、『未来の教室』とEdTech研究会を設置。「就学前教育・学校教育・リカレント教育の場の未来の姿 (未来の教室)」、「未来の教室のために開発すべきEdTechの姿」、「EdTechの開発と教育現場への導入に向けた諸課題」の3点について検討を進めている。

本市においても、経済産業省「未来の教室実証事業」を活用し、ICT機器等の活用による新たな学習モデルの実証研究を行う。

【写真】経済産業省『未来の教室』とEdTech研究会資料



人間の生活を楽くさせる発明を生む 自分の働く現場を少しでもカイゼン 顧客のニーズに合ったヒット商品を生む

「50センチ革命」を起こす力
身の回りの小さな気づきから、変化への「最初の一步」を踏み出し、実現する力

自分の街・地域を豊かにデザイン 人の心を揺さぶる表現 (アート・政治・文学・スポーツ) 世界の価値に出口を作る事業を発明する

- 学習プロセス全体で幅広く活用される、「学びの生産性」を向上させるテクノロジー全般を指す広い概念として捉えるべきではない。
- 今のEdTechは、①講義動画配信、②アルゴリズム・AI (人工知能) ・ビッグデータをもとにしたアダプティブ学習、③プログラミング学習、④オンラインでの学習者・指導者マッチング、⑤オンラインでの語学レッスンやディスカッション等の教育サービスが代表的。
- 今後は音声・表情・行動データ等から学習者自身の特性をよく把握する手段として、課題発見/設定/解決力を磨く「プロジェクト学習」を深める手段としても力を発揮する可能性もある。

「未来の教室」におけるEdTechの可能性の例

① 「課題発見・設定・解決力」等を向上 (プロジェクト学習×EdTech)

② 必要な「知識・スキル」の獲得 (教科学習×EdTech)

③ 「ワクワク・意欲・志」の発見・成長 (指導者×EdTech)

【今のEdTechができること】

- 知識・スキルの効率的な習得手段を提供 (講義動画配信 (名講義を誰でもどこでも受講できる) ・アルゴリズム・AI・ビッグデータで学習を個別化)
- 興味・関心や適切な指導者との遭遇機会を提供 (マッチング機能)
- オンライン会話・VRで地理・可視性の壁を克服 (物理的障壁の克服)

今後の可能性]

- 学習者自身の特性をよく把握する手段を提供 (音声・表情・データ等から興味・特性等を把握)
- 「プロジェクト学習」と「教科学習」を接続 (STEAM化) (知のナビゲーター機能) 等

挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

市民の生活に潤いと安らぎを与える「袋井らしさ」を追求し、地域資源とICTの結合などにより、地域経済を支える産業の生産性の向上と活性化に挑む。

取組1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト

本市を代表する観光拠点である遠州三山を中心に、情報発信を強化し、国内外からの観光交流客の誘客と滞在時間を増やすプランの創造やおもてなし環境の整備を推進する。

■新しい賑わいの場づくり

「ここならではの」のお土産づくりやメニューの充実、統一感のある門前（雰囲気）づくりのほか、四季折々のイベントを開催するなど、年間を通じた賑わいの場づくりを推進する。



【写真上】遠州三山風鈴まつり

(左：可睡齋、中：油山寺、右：法多山)

【写真右】法多山門前ごりやくカフェ<期間限定>「クラウンメロンカフェ」

■非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造

遠州の古刹めぐり「遠州三山自分巡礼の旅」を基に、歴史的建造物や仏像などを巡るプランのほか、修行体験や精進料理など、地域資源を活用した非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造により誘客の促進を図る。

【写真左】クラウンメロンを楽しむツアー

【写真右】可睡齋ひなまつり春の食楽めぐり



■国内外に向けた情報発信の強化

SNSの活用や首都圏・中京圏の旅行会社等へのセールスなど、本市を知り、実際に訪れてもらうまでの戦略的なアプローチを視野に入れた情報発信を行う。

主要観光施設へのWi-Fi環境の整備のほか、パンフレットや案内標識、ホームページ等の外国語対応を充実させ、インバウンド観光の受入体制の強化を図る。



【写真】ラグビー日本×アイルランド戦での本市PR

取組 2 農業の未来を創るプロジェクト

基盤整備や作業の効率化による生産性の向上のほか、「強み」のある産地形成に向けた作付け転換、異業種連携や農業法人を含む担い手の育成など、新しい農業を拓く取組を推進する。

■畑地管理の適正化と農地の有効利用

茶畑の作業効率と生産性の向上に向けた基盤整備と集積を図るとともに、茶の転換作物などの研究を推進し、「強み」のある産地形成を図り、農業者所得の向上と耕作放棄地の解消を目指す。

■水田のフル活用と地域に親しまれる米づくり

人・農地プランや農地中間管理機構を活用し、意欲のある担い手への農地集積と水田の高機能化により、生産性の向上と高度利用を図る。また、「(仮称)水田市民農園」を開設し、市民生活に潤いとやすらぎを与えると同時に、米の地産地消の推進を図る。

■クラウンメロンの更なる飛躍

熟練生産者の生産技術を検証し、ICT等を活用した業務の標準化(マニュアル化)をすることで、技術の継承と新規就農を促すと同時に、安定した高品質メロンの生産と出荷増を図る。

取組 3 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立

トレーサビリティをはじめとした安全、安心な体制の確立と産地表示などと併せた知名度の向上などの取組により、国内外のさらなる販路拡大を図る。積極的な販売促進活動を通じた消費者ニーズの獲得により、クラウンメロン等のブランド力のさらなる強化を図る。

■農産物の外的評価の推進

品質や安全性などの農産物の付加価値を高めるため、産地表示、機能性表示、GAP認証などの外的評価制度を活用し、消費者や取扱業者から選ばれる商品づくりを推進する。



[写真] クラウンメロンPRイベントin香港

■農産物の海外輸出の拡大

ロシアや東南アジアなど、新たな市場の開拓に向けた販売促進活動を展開するほか、EU諸国や米国等への輸出を含め、競争力のある商品づくりと確かな商流の確保に努める。



■クラウンメロンのブランド力の強化

消費者ニーズの更なる獲得に向け、加工品の開発やターゲットを絞った販促活動を実施し、ブランド力の強化と魅力ある商品づくりを促進する。

全国のメロン産地のネットワーク化により、果実界におけるメロンの地位復活を目指す。



[写真上] 春華堂 ジェラート ザ・プレミアム「クラウンメロン」

[写真下] 森永製菓 旬を味わうハイチュウ「クラウンメロン」

挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

1 現状と課題

- (1) 「遠州三山『寺のある暮らし』推進プロジェクト」については、産学官金の連携による「法多山門前再興プロジェクト」により、新しい賑わいの場づくりの検討を行い、法多山境内・門前にある「ごりやくカフェ」において、GW期間限定で「クラウンメロンカフェ」をオープンし、5種類のクラウンメロンスイーツの販売を行った。また、秋限定の新商品「栗だんご」を11月25日・26日開催の「もみじまつり」で限定販売した。今後も引き続きプロジェクト会議を開催し、門前活性化の具体的な内容を検討するとともに、新たな人の呼び込みに繋がる事業を積極的に実施していく。
- (2) 非日常的な体験や歴史に触れるプランの創造や国内外に向けた情報発信の強化を目的として、岩手県釜石市市民訪問団（39人）のエコパスタジアムでのラグビー観戦を含めたモニターツアー（開催地間交流）や、首都圏からの観光客誘致を目的とした「ふじのくに袋井 夏の観光キャンペーン2017」（東京シティアイ）の開催に加え、ラグビーワールドカップ2019™開催期間を想定したモニターツアーとして、「ふくほまれ収穫体験と豆腐づくり体験モニターツアー」など4本を企画・実施した。これに加え、「浅羽佐喜太郎とファン・ボイ・チャウ」の翻訳パンフレット作成や、タイ語での観光パンフレット作成、メロン検疫代行システム導入に向けたタイ語のアンケート作成などを行った。今後は、まちの国際化を進める事業とも連携を図りながら、外国人観光客受入体制の整備を進めるとともに、本市内にある四季折々の資源の発掘や活用により、年間を通じた賑わいの創出に取り組んでいく。
- (3) 「農業の未来を創るプロジェクト」については、(株)大和コンピューターがICT技術を活用したメロン栽培を自社農場で実施した。また、メロンの養液栽培技術の本格的な普及を目指し、地元農家や企業、行政で組織するコンソーシアムにより、農林水産省の実証事業を実施した。さらに、新たなビジネスの創出を目的として2月14日に「ふくろい農商工交流会」を開催した。今後も内容を充実させるとともに、継続して開催する。
- (4) 「世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立」については、クラウンメロンの品質や安全性などをPRするため、QRコード（支所HPリンク）付きネックタグを作成した。
- (5) 国内での売り上げが低下する夏場の需要創出を目的として、香港において東海堂 a r o m e（洋菓子製造メーカー）との連携により、クラウンメロンケーキを商品化し、4～8月の期間限定で販売を行うとともに、7月に東海堂 a r o m e 主催のクラウンメロン販促イベントで生産者及び市長のトップセールスを実施し、品質の高さや産地のPRを行った。
その結果、4～8月の香港への輸出金額は対前年約1,500万円増加したことに加え、国内市場の値崩れも抑制されたことから、同時期のクラウンメロン支所売上金額は前年比で約3,800万円増加し、夏場の需要創出につながった。この他にも、クラウンメロン支所ホームページを多言語対応に更新したほか、メロンの食べ頃等をお知らせするタイ語版のPRパンフレットを作成した。引き続き、東南アジア圏をはじめとした海外での販路拡大に向け、取組を加速していく。

2 主な取組の進捗状況

☆…地方創生交付金活用事業

取組名	進捗状況					進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	難航	達成		
2-1 遠州三山「寺のある暮らし」 推進プロジェクト						<p>○「法多山門前再興プロジェクト会議」の開催(5/25、11/21)</p> <p>○法多山尊永寺境内・門前の「ごりやくカフェ」をGW期間限定で「クラウンメロンカフェ」としてオープン、5種類のクラウンメロンスイーツ販売</p> <p>○秋限定の新商品「栗だんご」もみじまつり(11/25・26)で限定発売⇒即完売</p> <p>○岩手県釜石市市民訪問団(39人)のエコパスタジアム開催のラグビー観戦を含めたモニターツアー(開催地間交流)実施☆</p> <p>○「ふじのくに袋井 夏の観光キャンペーン2017」(6/30～7/1、東京シティアイ、集客9,679人)☆</p> <p>○遠州三山風鈴まつり(7/1～8/31)</p> <p>○ラグビーW杯開催期間を想定したモニターツアーの開催☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふくほまれ収穫体験と豆腐づくり体験モニターツアー(9/30、市内留学生ほか10人参加) ・クラウンメロンを楽しむツアー(11/19、留学大学生16人参加) ・可睡齋ひなまつりと秋葉街道ウォーク(2/25、16人参加) ・可睡齋ひなまつり春の食楽めぐり日帰りバスツアー(3/11、参加者19人) <p>○「浅羽佐喜太郎とファン・ボーイ・チャウ」に係る翻訳パンフレットの作成☆</p> <p>○観光パンフレット(タイ語)、メロン検疫代行システム導入に向けたアンケート(タイ語)作成☆</p>	産業政策課 市長公室 ICT街づくり課
2-2 農業の未来を創る プロジェクト						<p>○ICT技術を活用したメロン栽培 ⇒株式会社大和コンピューター(本社:東京都)が自社農園(浅羽南地区)で研究開発</p> <p>○「メロン養液栽培による循環型農業コンソーシアム」農林水産省実証事業実施 ※コンソーシアム…大和コンピューター、豊田肥料、理工科大学、地元農家、農協、市で組織</p> <p>○ふくろい農商工交流会開催(2/14、120人参加)</p>	農政課 ICT街づくり課
2-3 世界で戦える農産物と ビジネスモデルの確立						<p>○クラウンメロンのQRコード(支所HPリンク)付きネックタグ作成☆</p> <p>○香港のマキシム社グループ東海堂aromeと連携によりクラウンメロンケーキを商品化、4～8月の期間限定で販売(フェア実施期間の香港向けメロン輸出1,944箱)☆</p> <p>○7/26東海堂arome主催のクラウンメロン販促イベントで生産者及び市長のトップセールスを実施☆</p> <p>○クラウンメロン支所HP多言語対応☆</p> <p>○タイ語版パンフレット作成☆ ⇒香港・タイ等海外輸出☆(H29実績 約2,700ケース出荷、出荷額2,700万円)</p> <p>○「第3回全国メロンサミットin鶴岡」参加(7/8-9)</p> <p>○クラウンメロンの加工品販売促進 ⇒取扱企業H29実績「森永製菓・ハイチュウ 静岡クラウンメロン味」など46社</p>	農政課

3 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😄 概ね順調 😊 低調 😞]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

2-1 遠州三山「寺のある暮らし」推進プロジェクト

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
観光交流客数 [↑]【出典：第2次総合計画 ／観光基本計画(後期計画)】	万人	423 (H26)	466	464	495		(新)505 (旧)468	😊
主要観光拠点のWi-Fi設置数 [↑]【出典：観光基本計画】	件	2 (H26)	3	4	4		10	😞

2-2 農業の未来を創るプロジェクト

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
耕作放棄地解消面積 [↑]【出典：農業振興ビジョン】	㌔	10.7 (H26)	5.6	18.1	30.8		11.0	😊
農業法人数 [↑]【出典：第2次総合計画／農業振興ビジョン】	社	34 (H26)	34	35	38		39	😊
利用権設定面積 [↑]【出典：第2次総合計画／農業振興ビジョン】	㌔	960 (H26)	961.8	966.9	977.0		1,075	😞

2-3 世界で戦える農産物とビジネスモデルの確立

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
お茶の海外輸出量 [↑]【出典：農政課】	トン	10 (H26)	10	7	10		15	😞
メロン加工品取扱企業の数 [↑]【出典：農政課】	社	31 (H26)	24	28	46		35	😊

4 創生会議等における主な意見 (●…ふくろい部会、■…首都圏部会)

- 「地域への愛着」を高めるには、そこで暮らす人の「満足」や「誇り」が大切。それを育むには、早い段階から特産品や地場産業などの地域資源を活用した「郷土への誇りを実感できる」教育の実施により、他との違いを理解することが必要。
- 成長が著しいアジアのマーケットなど、国外にも目を向けることが必要。その中でビジネスチャンスを掴むには、ここにしかない地域の魅力をターゲットに伝え、差別化を図っていけるかがポイント。
- 観光誘客で新たな取組を仕掛けていくとき、観光資源に乏しくてもプロデュースの仕方や発信の方法次第で全国区のものとなる。ナイトタイムエコノミーなどの新たな事業も、そういった視点で取り組むことが大切。
- ラグビーワールドカップの経済効果120億をいかに取り込んでいくか。ラグビーワールドカップとふくろいまつりが重なることを好機と捉え、まつりを参加型の観光商品として活用できないか。また、仮設のオートキャンプ場を整備し、本市にあるキャンピングカー会社などとも連携して長期滞在型の展開を検討してはどうか。
- ラグビーワールドカップの開催は、新たな価値軸や仕組みづくりに向けた絶好の契機。遠州三山などの袋井市固有の地域資源に近隣市町の持つ強みを組み合わせ、遠州地域全体として、国外のみならず国内からも人を呼び込み、滞在につなげ、地域内でお金が回る仕組みを整えられるか、それをラグビーワールドカップ後も定着させられるかがポイント。

⑥日本一茶文化のまちふくろい～松下コレクション～

元愛知大学教授の松下智氏が世界の茶産地で収集した、茶道具や文献などの「松下コレクション」の常設展示を行う「袋井市茶文化資料館」が平成29年6月、浅羽支所3階にオープン。茶業、観光、商工業者等で組織する「日本一茶文化のまち 松下コレクションを活かす会」（豊田富士雄会長）が、運営を行う。



[写真上] 袋井市茶文化資料館 [写真下] アジア各国の茶器など様々な資料を展示

- ◇資料は約2,000点
- ◇解説員が常駐
- ◇来訪者に茶文化を解説

◇茶産地ふくろいを全国に発信！

(都内で販売促進)

H30.4～

日本茶専門店

「おちゃらか

コレド室町」

で取扱開始！



[写真左] 三川茶と天竜浜名湖鉄道 [写真右] 幻の白茶「きら香」(笠原)



挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

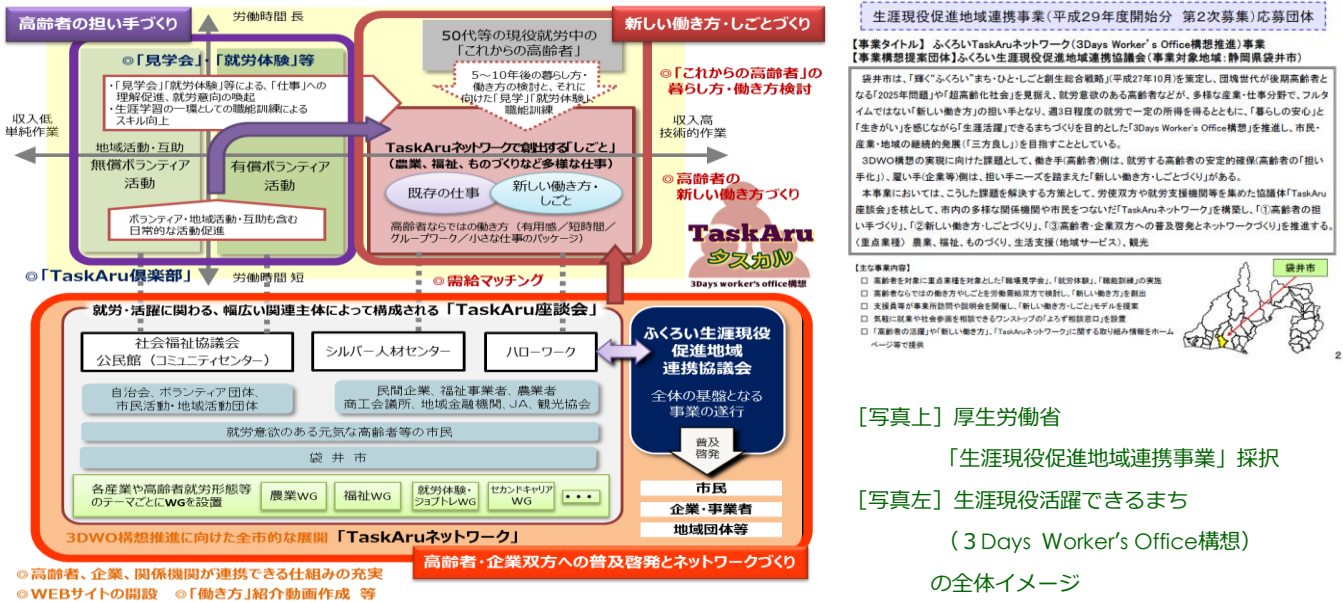
いつまでも光り輝き社会を支える人（アクティブ・シニア）づくりと将来にわたって、持続可能な地域医療・介護提供体制の構築とあわせ、医療費の適正化に挑む。

取組1 プラチナ社会の実現への取組

労働力人口の減少、高齢者人口の増大などへの対応と地域課題への解決に資する新たな働き方（生きがい就労）を創出し、市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちの実現を目指す。

■3Days worker's office構想の推進

高齢者をはじめ、子育てや闘病などを起因に、フルタイムでの就労が困難な方などを対象に、「生きがい就労」という新しい働き方を創出し、需要供給の総合調整のほか、ジョブトレーニング等の支援する仕組みを構築する。 [注] 3Days worker's office構想とは…「暮らしの安心」と「生きがい」を感じながら、生涯現役で活躍ができる仕組み



生涯現役促進地域連携事業(平成29年度開始分 第2次募集)応募団体
【事業タイトル】 ふくろいTaskAruネットワーク(3Days Worker's Office構想推進)事業
【事業構想提案団体】 ふくろい生涯現役促進地域連携協議会(事業対象地域:静岡県袋井市)
 袋井市は、「輝く・ふくろい」まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年10月)を策定し、団塊世代が後期高齢者となる「2025年問題」や「超高齢化社会」を見据え、就業意欲のある高齢者などが、多様な産業・仕事分野で、フルタイムではない「新しい働き方」の担い手となり、週3日程度の就労で一定の所得を得るとともに、「暮らしの安心」と「生きがい」を感じながら「生涯活躍」できるまちづくりを目的とした「3Days Worker's Office構想」を推進し、市民・産業・地域の継続的発展(「三方よし」)を目指すこととしている。
 3DWO構想の実現に向けた課題として、働き手(高齢者側)は、就労する高齢者の安定的確保(高齢者の「担い手化」)、雇い手(企業等)側は、担い手ニーズを踏まえた「新しい働き方・しごとづくり」がある。
 本事業においては、こうした課題を解決する方策として、労働双方が就業支援機関等を集めた協議体「TaskAru座談会」を核として、市内の多様な関係機関や市民をつないで「TaskAruネットワーク」を構築し、「①高齢者の担い手づくり」、「②新しい働き方・しごとづくり」、「③高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり」を推進する。(重点業種) 農業、福祉、ものづくり、生活支援(地域サービス)、観光
【主な事業内容】
 高齢者を対象に重点業種を対象とした「職場見学会」、「就労体験」、「機能訓練」の実施
 高齢者ならではの働き方・しごとを労働協賛双方で検討し、「新しい働き方」を創出
 支援員が事業内容や活動の進捗を把握し、「新しい働き方・しごと」をリアルに提供
 気軽に就業や社会参加を促すための「ふくろい」による相談窓口を設置
 「高齢者の活躍」や「新しい働き方」、「TaskAruネットワーク」に関する取り組み情報をホームページ等で提供

【写真上】厚生労働省
「生涯現役促進地域連携事業」採択
 【写真左】生涯現役活躍できるまち
(3 Days Worker's Office構想)
の全体イメージ

■小さな拠点づくり推進事業

誰もがアクセスしやすい場所に医療施設や金融機関、公共サービス施設を集約させることで、車に頼らず、「年をとっても暮らしやすいまち」の創出を目指す。



【写真】 浅羽西コミュニティセンター「ENGAWA」

取組2 セルフメディケーションの推進

2025年問題への対応と医療費の抑制に向け、病院や診療所など、限りある地域の医療資源を持続的かつ効果的に利用するために、診療情報の共有化と自己の健康状態を常に把握できる社会基盤を整備する。

[注] セルフメディケーションとは… 自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること

■「地域共通診察券」の導入プロジェクト

「地域共通診察券」の導入により、診療情報の集約と各医療機関の共有化、保健・予防事業との連動を促進することで、セルフメディケーションの推進や健康寿命の延伸へのつながりが期待される。



取組3 歩いて楽しいまちづくり

市の中心核であるJR袋井駅周辺区域と約2.5km北に位置する健康・福祉・スポーツ機能集積エリアまでの区域内を“歩いて楽しい”健康的なまちづくりの先導区域として空間整備する。

■歩いてみたくなる空間の整備

高齢化の進行に伴う医療費等への財政負担を軽減するため、従来から本市で取り組んでいる“歩く”の視点に立って、歩行者主役の心地よい空間を整備する。



[写真左・中] ふくろい宿de花マルシェ2017

[写真右上] ミズベリングふくろい「原野谷川 de ひなまつり」

[写真右下] 袋井市景観重要建造物第1号指定「旧中村洋裁学院」



■ウォーキングや健康増進のための活動拠点の整備

ウォーキングや健康増進などに取り組む人達が、集い、交流することができる空間を整備する。

取組4 自転車を活かしたまちづくり

平坦地が多いことや温暖な気候など、自転車利用に適した環境を活かし、自転車利用の推進によって、市民の健康を維持・増進するとともに、医療・介護費等の削減につなげ、「日本一健康文化都市」の実現を目指す。

■自転車を活用した新しいライフスタイルの提案

市民の身近な移動手段である「自転車」を日常生活に取り入れ、新たなライフスタイルの実現に向けて「自転車」の持つメリットである「健康」、「経済」、「環境」、「時間」の4つの分野に分け、各種事業を実施していく。



[写真左] 電動付きアシスト自転車

[写真中] 整備した自転車走行空間

[写真右] 自転車走行空間整備区間



挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

1 現状と課題

- (1) 「プラチナ社会の実現への取組」については、生涯現役活躍できるまち（3 Days Worker's Office構想）の実現に向け、その推進母体となる「ふくろい生涯現役促進地域連携協議会」を4月26日に市内の関係13団体で設立した。また、厚生労働省から6月14日付けで「生涯現役促進地域連携事業」の採択を受け、事業の取組推進を担う「ふくろいTaskAruネットワーク事務局」を10月2日に開設して専属職員3人配置し、相談等に加え、「大人の社会科見学」や「しごと体験」、「座談会」などを開催するとともに、PR動画やパンフレット等を作成した。
- (2) 「小さな拠点づくり」の推進として、地域内の絆や支え合いの仕組みづくりを促進し、地域の魅力最大化と持続可能な新しい地域コミュニティの先導的なモデル創出を目指すため、内閣府から「地方創生拠点整備交付金」の採択を受け、社会教育の拠点である浅羽西公民館を一部増築し、「モノ」が行き交う場（DOMA）と「ヒト」や「コト」の出会いの場（ENGAWA）の整備を行った。今後については、地域生活を支える拠点施設（コミュニティセンター）として活用していく。
- (3) 「セルフメディケーションの推進」については、本市に糖尿病が多い現状を踏まえ、市民の健康意識の向上と健康的な生活習慣の定着を促すため、食品摂取状況の分析を行うとともに、地域コミュニティの中心である「公民館」を会場に地域の健康づくり関係者や自治会、市が連携し、健康への理解を深める「地域健康寺子屋」について、地域で開業する歯科医師・薬剤師及び運動指導者を講師に招き、全公民館で教室を開催した。また、働く世代の健康づくりへの取組を強力に推進するため、企業訪問を実施し、健康経営への取組や「袋井市健康経営チャレンジ事業所」への登録を依頼するとともに、市内企業との連携により、健康管理システム（アプリ）「#2961（ふくろい）ウオーク」を開発し、併せて健康ポイント制度をリニューアルした。今後については、本事業などを通じて広く市民の健康リテラシー向上や企業の健康経営推進を図る。これに加え、コミュニティセンター（旧公民館）で開催する「出張保健センター」を通じ、健康意識を広める（無関心層への働きかけを行う）地域のインフルエンサー育成に注力していく。
- (4) 「歩いて楽しいまちづくり」については、歩いてみたくなる空間を創造していくため、6月11日に「ふくろい宿de花マルシェ2017」、10月28日に「東海道どまん中ふくろい宿場まつり」及び「東海道五十三次どまん中ふくろいウオーク」、1～3月にミズベリングふくろい「袋井の原風景」原野谷川の楽しみ方をみんなで考えよう！」などのイベントを開催した。また、12月14日に国登録有形文化財である旧中村洋裁学院（現文化交流施設「どまんなかセンター」）を本市「景観重要建造物」第1号に指定した。今後についても、「ミズベリング」（原野谷川の水辺空間を活用したイベント）など、公園や道路、河川をはじめとする公共空間の多面的かつ創造的な利用に向けた社会実験を実施していく。
- (5) 「自転車を活かしたまちづくり」については、自転車を活用した新しいライフスタイルの提案を行うため、電動アシスト付き自転車補助金の交付や電動アシスト付き自転車貸出を実施した。また、市道掛之上称宜弥線等に矢羽根（青いナビマーク）の路面標示による自転車通行空間を整備し、現地調査やアンケート調査により、通行安全性や走行性等の効果検証を行った。今後については、効果検証の結果を踏まえ、自転車通行空間の整備を進めていく。

2 主な取組の進捗状況

☆…地方創生交付金活用事業

取組名	進捗状況					進捗状況等の説明	担当課
	未着手	着手	順調	難航	達成		
3-1 プラチナ社会の実現への取組						<ul style="list-style-type: none"> ○「ふくろい生涯現役促進地域連携協議会」設立(4/26、13団体参加) ○厚生労働省「生涯現役促進地域連携事業」採択(6/14)⇒「3Days Worker's Office構想」の実現に向け取組を推進 ○ふくろいTaskAruネットワーク事務局開設(10/2、シルバーワークプラザ内)・専属職員3人配置し、相談等を実施(H29相談件数:高齢者75件、企業16件) ○大人の社会科見学(4回、12事業所、65人参加) ○しごと体験(12事業所、15人参加)⇒うち7人が就労 ○大人の社会科見学等参加高齢者及び参加企業との座談会(10回、15団体参加) ○PR動画(企業向け1本、高齢者向け5本)、パンフレット作成 ○CSAJ働き方改革研究会・人材育成研究会と共催で高齢者雇用推進セミナーを開催(10/27、袋井市総合センター、20社・団体計41人参加) ○浅羽西公民館増築(地域の縁側づくり「ENGAWAマーケット@浅西」)☆⇒縁側(事務室増築)と土間(庇)の設置 	産業政策課 市長公室 市民協働課(H30～協働まちづくり課) 企画政策課 しあわせ推進課 地域包括ケア推進課 健康づくり課 都市計画課 生涯学習課 ICT街づくり課
3-2 セルフメディケーションの推進						<ul style="list-style-type: none"> ○健康管理システム(アプリ)「#2961ウオーク」開発☆(H29試行運用期間:846人登録) ○「健康日本21推進袋井大会 #2961健康UP↑デー」(2/18、メロープラザ、450人参加) ○ふじのくに健康づくり推進事業所登録 ○健康経営の推進(「袋井市健康経営チャレンジ事業所」H29年度:21事業所登録) ○市民の食品摂取状況分析⇒男性:塩辛い食品摂取頻度高、女性:炭水化物摂取頻度高 ○地域健康寺子屋開催 ・歯科医師(口腔ケア)@7会場、101人 ・薬剤師(薬)@7会場、339人 ・運動指導者(ロコモ予防)@14会場、318人 	健康づくり課 地域包括ケア推進課 市民課
3-3 歩いて楽しいまちづくり						<ul style="list-style-type: none"> ○ふくろい宿de花マルシェ2017開催(6/11、宿場公園、19店舗出店) ○東海道どまん中ふくろい宿場まつり、東海道五十三次どまん中ふくろいウオーク(10/28) ○ミズベリングふくろい「袋井の原風景”原野谷川”の楽しみ方をみんなで考えよう！」(1/20、2/3、3/3、3/23) ○旧中村洋裁学院(現文化交流施設「どまんなかセンター」)本市「景観重要建造物」第1号に指定(12/14)※国登録有形文化財 	企画政策課 都市計画課 都市整備課 スポーツ推進課 市民協働課(H30～協働まちづくり課)
3-4 自転車を活かしたまちづくり						<ul style="list-style-type: none"> ○電動アシスト付き自転車補助金(市内在住60歳以上に1万円/人を補助)⇒50件延べ50万円補助 ○電動アシスト付き自転車貸出事業(市内在住60歳以上に最長3ヶ月間)⇒延べ22人に貸し出し(年間2回貸出) ○市道掛之上称宜弥線等に矢羽根(青いナビマーク)の路面標示による自転車通行空間を整備し、通行安全性や走行性等の効果検証を実施 	企画政策課

3 評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😊 概ね順調 😊 低調 😞]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

3-1 プラチナ社会の実現への取組

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
健康寿命の延伸(お達者度) [↑]【出典：第2次総合計画／健康づくり計画】	年	男17.51 (県内15位) 女20.87 (県内20位) (H24)	男17.44 (県内19位) 女20.86 (県内21位) (H25)	男17.46 (県内24位) 女20.77 (県内21位) (H26)	男17.66 (県内24位) 女21.02 (県内21位) (H27)		男17.69 (10位以内) 女21.17 (10位以内)	😊
子育て世代の社会移動 [↓]【出典：市長公室】	世帯	△60 (H26)	△60	△80	△80		均衡 (±0)	😞

3-2 セルフメディケーションの推進

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
「地域共通診察券」参加医療機関数 [↑]【出典：地域包括ケア推進課】	機関	— (H26)	未実施	未実施	未実施		39	😞

3-3 歩いて楽しいまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
JR袋井駅南北連絡線利用者数 [↑]【出典：企画政策課】	人／日	8,098 (H26)	8,134	H30 調査予定	H30 調査予定		10,000	—

3-4 自転車を活かしたまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
1週間に1回以上自転車を利用する 人の割合 [↑]【出典：自転車を活かしたまちづくり指針】	%	20.3 (H26)	—	16.6	14.7		25.0	😞

4 創生会議等における主な意見 (●…ふくろい部会、■…首都圏部会)

●「ふくろい」は、都会と比べ選択肢は少ないが、「緩やかな時間」や「人とのつながり」など、「無形財産」を築けるといった面ではとても豊か。「地方」の良さを正しく伝えるためには、首都圏などへの主体的なPRが必要。

●自動運転などの新技術は、多様な形で進展し、地方の暮らし方や働き方も大きく変わっていく。また、地方の良さは、「人間本来のつながり」があることであり、今後の地方の暮らしは、「ICTの活用」と「人のつながり」がキーワードとなる。

■ICTなどの新技術（バーチャル）は、場所を選ばずに新たなことにチャレンジでき、それを機としてリアルな体験につながっていくことが期待できるため、様々な分野で積極的に取り入れていくことが大事。

■人生100年時代においては、年代を問わず自分が興味を持つ分野への投資など、リカレント教育（学び直し）が大事。また、それを通じて高齢者などが、身近な人や地域を支える存在となれば、とても良い。

■考える力を育むには、幼少期に友達や地域など、家庭外の関わりの中で、「仲間がいて見守られている」「愛されている」と感じる体験を通じ、自己肯定感を得ることが不可欠。「人づくり」はまち全体で考えていくことが必要。

⑦「ふくろいTaskAruネットワーク事務局」開設

「3 Days Worker's Office構想」※の早期実現に向け、平成29年4月26日、市やシルバー人材センター、商工会議所など市内13団体にて構成される「ふくろい生涯現役促進地域連携協議会」を設立。6月14日に厚生労働省「生涯現役促進地域連携事業」の採択を受け、同協議会が、「ふくろいTaskAruネットワーク事務局」(シルバーワークプラザ内)を平成29年10月2日に開設した。営業経験豊富な専属職員3人を配置し、「①高齢者の担い手づくり」、「②高齢者の新しい働き方・しごとづくり」、「③高齢者・企業双方に対する普及啓発」の各事業を実施していく。



[写真左上] ふくろいTaskAruネットワーク事務局と専属職員

[写真右] 大人の社会科見学・座談会 [写真下] 大人の社会科見学募集チラシ

ふくろいTaskAruネットワーク
大人の社会科見学
参加者募集

開催日 平成30年2月15日(定員15名・先着順)

見学先・スケジュール 2月15日(水) 午後1時～5時 (午後1時に飯井市役所ロビー集合)

- ① 社会福祉法人 デンマーク牧場福祉会 (飯井市飯井) <ふくろい内容> 牛乳のビン詰め
- ② 渡辺いちご園 (飯井市飯井/兼務所: 飯井市大野) <ふくろい内容> いちごの収穫
- ③ ダイオ化成株式会社 (飯井市飯井/兼務所: 飯井市大野) <ふくろい内容> 食品袋のつくり、梱包作業など

対象: おおむね55才以上の飯井市内在住の方
申込方法: お電話でお申し込みください。
申込期間: 平成30年2月13日(水) 午後5時
参加費: 無料
主催: ふくろい生涯現役促進地域連携協議会 ふくろいTaskAruネットワーク事務局
お申込み・お問合せ TEL/0538-84-6181

ふくろいTaskAruネットワーク
大人の社会科見学
参加者募集

開催日 平成30年2月21日(定員15名・先着順)

見学先・スケジュール 2月21日(水) 午後1時～5時 (午後1時に飯井市役所ロビー集合)

- ① 株式会社サンフレックス 浅羽工場 (飯井市大野) <ふくろい内容> 浅羽の産物、採取
- ② 安岡ばら園 (飯井市飯井) <ふくろい内容> ばらの産物の採り取り
- ③ JA遠州中央「園芸流通センター」(飯井市大野/兼務所: 飯井市大野) <ふくろい内容> 自家の産物、販売、梱包

対象: おおむね55才以上の飯井市内在住の方
申込方法: お電話でお申し込みください。
申込期間: 平成30年2月19日(月) 午後5時
参加費: 無料
主催: ふくろい生涯現役促進地域連携協議会 ふくろいTaskAruネットワーク事務局
お申込み・お問合せ TEL/0538-84-6181

ふくろいTaskAruネットワーク
大人の社会科見学
参加者募集

開催日 平成30年2月27日(定員15名・先着順)

見学先・スケジュール 2月27日(水) 午後1時～5時 (午後1時に飯井市役所ロビー集合)

- ① 株式会社サンフネTS (飯井市飯井) <ふくろい内容> 肉類の包装
- ② 特別養護老人ホーム高松の里 (飯井市久野) <ふくろい内容> シーツ交換、お昼の給食
- ③ サークルK飯井市役所前店 (飯井市飯井) <ふくろい内容> レストラン、清掃

対象: おおむね55才以上の飯井市内在住の方
申込方法: お電話でお申し込みください。
申込期間: 平成30年2月23日(金) 午後5時
参加費: 無料
主催: ふくろい生涯現役促進地域連携協議会 ふくろいTaskAruネットワーク事務局
お申込み・お問合せ TEL/0538-84-6181

※「3 Days Worker's Office 構想」とは…

高齢者等ならではの就労や活躍機会の創出により、「暮らしの安心」と「生きがい」を感じながら生涯現役で活躍できるまちづくりを目指すもの。高齢者のみならず、企業や団体、地域が互いに支え合う社会の実現を目的として地域ぐるみで取り組む。

[写真]「ふくろい生涯現役促進地域連携協議会」設立総会

- 24 -

第4章 戦略を支える取組 [第2次総合計画]

評価指標の達成度

[評価基準：達成 😊 順調 😄 概ね順調 😊 低調 😞]

※括弧内矢印は指標を「上げる」「下げる」を示します

4-1 活力みなぎる産業のあるまちづくり

(参考：国の政策分野1) 地方における安定した雇用を創出する

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
満足のいく雇用機会に恵まれていると思う人の割合[↑]【出典：市民意識調査】	%	— (H26)	21.4	25.8	35.3		50.0	😊
製造品出荷額等(従業員4人以上) [↑]【出典：第2次総合計画/工業振興計画】	億円	4,957 (H25)	5,175 (H26)	5,370 (H27)	5,758 (H28)		5,340	😄
観光交流客数 ※再掲 [↑]【出典：第2次総合計画 /観光基本計画(後期計画)】	万人	423 (H26)	466	464	495		(新)505 (旧)468	😊
主要農産物産出額 [↑]【出典：第2次総合計画/農業振興ビジョン】	億円	77.6 (H26)	73.3	70.6	69.8		75.7	😞

4-2 快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり

(参考：国の政策分野2) 地方に新たな人の流れをつくる

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
袋井市が住みよいと思うところ の割合[↑]【出典：市民意識調査】	%	73.3 (H26)	66.4	67.3	65.9		80.0	😞
地区計画などの実施面積 [↑]【出典：第2次総合計画】	ヘクタール	299 (H26)	299 3箇所 で協議中	299 3箇所 で協議中	309 2箇所 で協議中		360	😊
一人1日あたりの可燃ごみの排出量 [↓]【出典：市民意識調査/参考：環境基本計画】	グラム	518 (H26)	529	529	529		512	😞
公共施設のWi-Fiスポット設置割合 [↑]【出典：第2次総合計画/参考：ICT推進計画】	%	42.5 (H26)	45.0	57.5	62.5		87.5	😊
住宅の耐震化率 [↑]【出典：第2次総合計画 /参考：耐震改修促進計画】	%	91.3 (H26)	92.0	92.6	93.3		94.5	😊
浸水被害想定家屋数 [↓]【出典：第2次総合計画 /参考：中部豪雨災害対策アクションプラン】	戸	295 (H26)	295 高尾放水路 整備中	295 高尾放水路 整備中	261		261	😄
人身事故件数 [↓]【出典：第2次総合計画 /参考：第9次交通安全計画】	件	775 (H26)	758	720	749		740	😊

4-3 こどもがすこやかに育つまちづくり

(参考: 国の政策分野3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
「自分が住んでいるまちが子どもを産み、 育てやすいところ」と感じている人の割合 [↑]【出典: 市民意識調査】	%	— (H26)	49.3	38.9	45.1		80.0	☹️
合計特殊出生率 [↑]【出典: 第2次総合計画】	%	1.71 (H25)	1.73 (H26)	1.69 (H27)	1.64 (H28)		1.81	☹️
保育所待機児童数 [↓]【出典: 第2次総合計画 ／参考: 子ども・子育て支援事業計画】	人	30 (H27)	25 (H28)	27 (H29)	28 (H30)		0	☹️
全国規模の学力調査で全国平均を上回る 科目の割合(小6・中3) [↑]【出典: 第2次総合計画】	%	50.0 (H26)	10.0	100.0	12.5		87.5	☹️

4-4 市民がいきいきと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

(参考: 国の政策分野4) 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

指標名	単位	基準値 (基準年)	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	目標値 (H31)	評価
「地域の絆や支え合いの仕組みが 形成されている」と感じている人の割合 [↑]【出典: 市民意識調査】	%	— (H26)	43.3	37.0	41.9		80.0	☹️
お達者度(男性／女性) ※再掲 [↑]【出典: 第2次総合計画／健康づくり計画】	年	男17.51 (県内15位) 女20.87 (県内20位) (H24)	男17.44 (県内19位) 女20.86 (県内21位) (H25)	男17.46 (県内24位) 女20.77 (県内21位) (H26)	男17.66 (県内24位) 女21.02 (県内21位) (H27)		男17.69 (10位以内) 女21.17 (10位以内)	😊
市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人 の割合 [↓]【出典: 第2次総合計画／健康づくり計画】	%	9.2 (H25)	9.7 (H26)	10.3 (H27)	10.6 (H28)		7.8	☹️
総合健康センターでの総合相談件数 [↑]【出典: 第2次総合計画】	件	2,500 (H26想定値)	2,080	2,495	2,828		2,900	😊
自治会加入率 [↑]【出典: 第2次総合計画】	%	87.5 (H27)	87.2 (H28)	86.4 (H29)	85.9 (H30)		89.5	☹️
協働まちづくりセンター登録団体数 [↑]【出典: 第2次総合計画】	団体	46 (H26)	52	58	54		66	☹️
「男女共同参画社会づくり宣言」 宣言事業所の数 [↑]【出典: 第2次総合計画 ／第3次男女共同参画推進プラン】	事業所	30 (H26)	39	49	49		47	😊

第5章 地方創生交付金等の活用状況

○平成27年度 「地方版総合戦略の策定&先行的な取組」

第1弾 ②6月補正⇒②7全額繰越

総額：116,161千円

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金【消費喚起・生活支援型】

○事業費 72,653千円（国費10/10）

○交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分

○施策の概要

地域における消費喚起策「元気はつらっクーポン券」（プレミアム付き地域商品券）の発行

発行冊数：33,000冊、発行総額：396,000千円（プレミアム率20%/66,000千円）

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/基礎分】

○事業費 43,508千円（国費10/10）

○交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分

○施策の概要

・「地方版総合戦略」の策定のほか、まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業

ICT教育の充実強化（電子黒板の導入）、子育て応援アプリの開発、観光情報の多言語化、全国メロンサミットの開催、クラウンメロンの海外輸出支援、シティプロモーションほか

第2弾 ②711月補正

総額：20,000千円

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/上乘せ交付（タイプⅠ）】

○事業費 10,000千円（国費10/10）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考

○施策の概要

・「3 Days Worker's Office 構想」策定事業

「週3日程度の就労」と「一定程度の所得」を得ることができる仕組みづくり

○交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金【地方創生先行型/上乘せ交付（タイプⅡ）】

○事業費 10,000千円（国費10/10）

○交付要件 地方版「総合戦略」を10月末までに策定した自治体に交付（施策の推進費）

○施策の概要

・まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業

ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、タブレットを活用した学習支援の社会実験
袋井商業高等学校の5年制化の推進、アクティブ育児応援プログラム

第3弾 ㉗ 2月補正⇒㉘全額繰越

総額：80,000千円

- 交付金名 **地方創生加速化交付金**
- 事業費 **40,000千円(国費10/10)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「3 Days Worker's Office 構想」実装化事業

- ・基礎調査(㉗実施)により抽出された課題整理と制度の詳細設計、推進協議会の開催
- ・「仕事の切り出し」や「シフトの組み方」など好事例の実践

- 交付金名 **地方創生加速化交付金**
- 事業費 **40,000千円(国費10/10)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「グローバル戦略」加速化事業

- ・TPPを見据えたクラウンメロンの輸出促進
新興国市場での需要喚起と販路拡大(トップセールス、海外バイヤー招聘ほか)
- ・ラグビーW杯を見据えた訪日外国人観光客のおもてなし環境整備
市民の英語力向上(英検受験助成ほか)、ふくろい版ホームステイ、シティプロモーション

○平成28年度 「本格的な地方創生事業の推進」

第4弾 ㉙ 9月補正

総額：50,000千円

- 交付金名 **地方創生推進交付金(1年目/H28-30) <第39回地域再生計画認定>**
- 事業費 **50,000千円(国費1/2)**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
市PR動画作成・首都圏プロモーション、サテライトオフィスの実証実験 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、クラウドファンディング推進 など
- ・人材育成/IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化(電子黒板導入校の拡大)、ロボットプログラミング教育支援 など

第5弾 ㉘2月補正⇒㉙全額繰越

総額：16,000千円

○交付金名 **地方創生拠点整備交付金<第41回地域再生計画認定>**○事業費 **16,000千円(国費1/2)**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

地域の縁側づくり「ENGAWAマーケット@浅西」実施計画

- ・縁側づくり(事務室の増築)と土間(庇)の設置
- ◇ENGAWA(事務室)ヒトとコトの交流ゾーン/DOMA(庇)モノの交流ゾーン
- ・備品購入(老朽化した味噌づくり用自動発酵機等の備品更新)

○平成29年度 「地方創生事業の加速」

第6弾 ㉚当初

総額：50,000千円

○交付金名 **地方創生推進交付金(2年目/H28-30)<第39回地域再生計画認定>**○事業費 **50,000千円(国費1/2)**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
ふくろい版ホームステイ、クラウンメロンのブランド力向上、健康アプリ作成 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成/I T教育や観光教育の充実強化
I C T教育の充実強化(電子黒板導入校の拡大)、市民の英語力向上 など

第7弾 ㉛交付(国委託事業)

総額：20,004千円

○事業名 **生涯現役促進地域連携事業(1年目/H29-31)**○事業費 **20,004千円(国費10/10)**

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク(3Days Worker's Office構想推進)事業

- ・高齢者の担い手づくり(職場見学会、就労体験、職能訓練の実施)
- ・新しい働き方・しごとづくり(需給双方による検討)
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

○平成30年度 「地方創生事業の深化」

第8弾 ③⑩当初

総額：50,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H28－30）〈第39回地域再生計画認定〉

○事業費 50,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・特産物やラグビーW杯をフックにした誘客活動や商品造成、IT企業と連携した働き方改革の実践
ふくろい版ホームステイ、ラグビー開催に向けた機運醸成、インバウンド観光推進 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

採択
内閣府

第9弾 ③⑩6月補正

総額：199,600千円

○交付金名 地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉

○事業費 132,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション、農産物お土産開発、産業経済懇話会 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

採択
内閣府

○交付金名 地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉

○事業費 67,600千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教育実証研究 など

採択
内閣府

第10弾 ⑩交付（国委託事業）

総額：20,099千円

- 事業名 **生涯現役促進地域連携事業（2年目／H29－31）**
- 事業費 **20,099千円（国費10／10）**
- 交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要



ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

（ふくろいトピックス8）

⑧輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと・創生会議

地方創生の実現に向けた取組の加速・深化を目的として、各々の専門分野から幅広く意見をいただくとともに、政策立案に向けた議論を行うため、市内（県内）及び首都圏で幅広く活躍されている産学官の代表者らにより構成する「ふくろい部会」・「首都圏部会」、市内金融機関等の支店長により構成する「金融機関支店長会議」を次のとおりそれぞれ設置し、会議を開催している



■地方創生会議委員名簿（H30.6末現在／順不同・敬称略）

【ふくろい部会】

所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
袋井市観光協会	理事	大谷 純 應	静岡県立大学	特任教授	西野 勝 明
静岡理工科大学	学長	野 口 博	日本貿易振興機構浜松貿易情報センター	所長	志 牟 田 剛
袋井商工会議所	会頭	水谷 欣 志	山名学園山名幼稚園	理事長兼園長	諸 井 理 恵

【首都圏部会】

所属	役職	氏名	所属	役職	氏名
凸版印刷(株)	代表取締役会長	足立 直 樹	明治大学	名誉教授	北大路 信 郷
(株)ビー・エム・エル	代表取締役社長	近 藤 健 介	ココカラファイン(株)	代表取締役社長	塚 本 厚 志
イービストレード(株)	代表取締役社長	寺 井 良 治	(株)大和コンピューター	代表取締役社長	中 村 憲 司
楽天カード(株)	常務執行役員	幡 鎌 大 介	(株)ESPAD環境建築研究所	代表取締役	藤 江 通 昌
住友ベークライト(株)	社外取締役	松 田 和 雄	(株)コクーン	代表取締役	松 本 朋 丈

【金融機関支店長会議】

静岡銀行	スルガ銀行	清水銀行	静岡県労働金庫	浜松信用金庫
磐田信用金庫	掛川信用金庫	遠州中央農業協同組合	日本政策金融公庫	

■地方創生会議開催状況

[ふくろい部会（委員：6人）]

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.19（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.21（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について ①人口ビジョン（素案）、②政策パッケージ（骨子案）
3	H28.6.29（月）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、 企業版ふるさと納税
4	H29.6.28（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	H30.6.27（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換

[首都圏部会（委員：10人）]

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.12（火）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.31（金）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」について ①人口ビジョン（素案）、②政策パッケージ（骨子案）
3	H28.7.3（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、 企業版ふるさと納税
4	H29.7.3（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	H30.7.3（火）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換

[金融機関支店長会議（委員：8人）]

No.	開催日	場所	内容
1	H27.5.26（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」策定方針について
2	H27.7.29（水）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について意見交換 ①人口ビジョン（素案）、②政策パッケージ（骨子案）
3	H27.10.20（金）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について意見交換 ①人口ビジョン、②総合戦略／政策パッケージ
4	H28.3.2（水）	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について（調査依頼）
5	H28.7.22（金）	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について
6	H29.2.15（水）	袋井市役所	平成29年度当初予算の概要について 3 Days Worker's Office構想について
7	H29.11.1（水）	袋井市役所	平成28年度地方創生取組結果の概要 政策立案に向けた意見交換
8	H30.8.23（木）	袋井市総合センター	平成29年度地方創生取組結果及び平成30年度取組の概要 政策立案に向けた意見交換

⑨地方創生の実現に向けた「政策勉強会」

地方創生の実現に向け、時代をリードする新技術や価値観などに携わる有識者を招聘し、知識を深めるとともに、政策立案につなげていくことを目的として、市長をはじめ、庁内幹部職員及び市議会、商工会議所等関係団体を対象とした「政策勉強会」を開催している。

No.	開催日	場所	内容
1	H27.12.19 (土)	エコパ スタジアム	ラグビーワールドカップの魅力について 【講師】ラグビーワールドカップ2019組織委員会 事業部長 伊達亮氏 メガスポーツイベントを契機とした新たなまちづくり 【講師】EY総合研究所(株) 未来社会・産業研究部長 小川高志氏
2	H28.1.21 (木)	袋井市役所	労働市場の今後と政策課題 ～高齢者就労の実態～ 【講師】(株)リクルートワークス研究所 主任研究員 戸田淳仁氏
3	H28.2.18 (木)	袋井市役所	ホームステイ × まちの国際化 ～我が家は、ときどきインターナショナル～ 【講師】Homestay in Japan/(株)ネクステージ 代表取締役 竹島千歳氏
4	H28.11.9 (水)	袋井市役所	ICTまちづくりの近況と今後の展望について 【講師】東京大学大学院情報学環 教授 須藤修氏
5	H29.9.1 (金)	袋井市役所	シェアリングエコノミーをめぐる近況と今後の展望について 【講師】(一社)シェアリングエコノミー協会 内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 積田有平氏



[写真左] 第2回/高齢者就労 [写真中] 第3回/ホームステイ [写真右] 第5回/シェアリングエコノミー

⑩金融機関との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

地方創生の実現に向け、各々の強みを活かした特色ある連携や取組を展開するため、次のとおり個別に「取組テーマ」を設定し、連携協定を締結した。

[連携協定の状況]

(H30.6末現在)

No.	金融機関名	調印日	取組テーマ
1	磐田信用金庫	H27.9.7	「農業」と「食」に関すること (例) 新規就農者等の創業支援
2	静岡銀行	H28.1.19	「健康」をキーワードにした施策連携 (例) 産業×健康づくりほか
3	浜松信用金庫	H28.1.21	アウトバウンド戦略とインバウンド戦略 (例) 農産物の海外輸出と観光PR
4	掛川信用金庫	H28.2.15	潜在的な労働力の発掘 (例) 女性の活躍などの創業支援
5	遠州中央農業協同組合	H28.2.18	競争力のある商品づくり (例) ふるさと納税返礼品の充実
6	スルガ銀行	H28.3.14	まちの賑わいづくり (例) 空き店舗の利活用
7	静岡県労働金庫	H28.3.17	若者〔勤労者〕の定住促進 (例) 住まい方など将来設計への助言
8	清水銀行	H28.3.25	地域を担う人材育成の推進 (例) 実践的な金融経済教育の普及

■金融機関との連携による取組事例

○**共通事項（全ての金融機関が参画）** 地域内就労需要供給実態調査、金融機関支店長会議

○**個別事項（協定締結順／H30.6末現在）**

- ・ 磐田信用金庫 特産品PRイベント仲介（山口県宇部市）、ふくろい生涯現役促進地域連携協議会
- ・ 静岡銀行 地方創生特設PRブース設置（袋井支店）、ふくろい生涯現役促進地域連携協議会
- ・ 浜松信用金庫 クラウンメロンのタイ輸出支援、クラウドファンディング推進
- ・ 遠州中央農業協同組合 農協祭での健康づくりPR、ふくろい生涯現役促進地域連携協議会
- ・ スルガ銀行 法多山門前再興プロジェクト
- ・ 静岡県労働金庫 ろうきん遠友会住宅フェスティバルでの定住PR



[写真] 第3回金融機関支店長会議

第6章 参考資料 [やらまいか通信 (抜粋)]

全体 地方創生会議／人口

第114号 地方創生 やらまいか通信 vol.114

第4回ふくろい部会

一番の情報発信力は「市民のチカラ」
「伝える」から「広まる」情報発信を!

創生会議「第4回ふくろい部会」

未来に向けた「ヒト」「コト」への投資が
豊かなまちの実現につながる!

創生会議「第4回創生部会」

3年目を迎える地方創生の取組
さらなる「質化」に向け戦略を議論!

人口対前年比383人増(増1位)
「目標人口を超過」87,557人!

H28年度の地方創生の取組は
各事業についておおむね概調に進展中

創生会議の意見を踏まえ、取組をさらに
地方創生の実現に向け取組をさらに加速

第117号 地方創生 やらまいか通信 vol.117

施策内容は、積極的かつ優れているが...
「伝えたい人」に伝わる情報発信と
まちなイメージやブランド力の強化が課題

第7回「金融機関支店長会議」の意見紹介

● 地域の魅力や個性が伝わっていない
● 企業と連携した情報発信が不足している
● まちのイメージやブランドをデザインし、実行...
● 「伝えたい人」に伝わる情報発信と
● まちなイメージやブランド力の強化が課題

第127号 地方創生 やらまいか通信 vol.127

市制施行以来、
初の88,000人突破

87,155人 (H27) → 87,174人 (H28) → 87,557人 (H29) → 88,008人 (H30)

自然増75人、社会増376人

人口対前年比383人増(増1位)
「目標人口を超過」87,557人!

市制施行以来、初の88,000人突破

挑戦 1 若者が魅力を感じるまちづくりへの挑戦

第104号 地方創生 やらまいか通信 vol.104

Rikejo Café

「私たちのまち」愛野の魅力を伝えたい!
「Do You Know? I Know!」発行

愛野の魅力伝える全28ページの愛野エリアMAP

「Rikejo Café」(静岡理工科大学の女子学生で組織するグループ)が、エコに特化した
人たちに「私たちのまち」の魅力を伝えてほしい。愛野エリアのおすすすめスポットをまと
めた冊子を作成し、オンラインを通して、若者が魅力を感じるまちづくりに貢献している。
学生主体での企画の取材、写真などで発行。おすすすめした場所に丁寧に写真を載せ、
愛野エリアの飲食店、お土産、農産物の魅力、理工科大学の紹介等をまとめた。

● ラブドビーW杯に向けてもっと愛野を盛り上げたい!
● まっぴかRikejo×袋井市の地方創生Cafe Talk
● 自分たちの力で企画からデザインまで実施
● ライブ等の持ち時間にも、おすすすめ周遊コース提案
● 英語版、中国語版もホームページで掲載予定

第105号 地方創生 やらまいか通信 vol.105

ICT×袋井の未来
～市民のICTリテラシーの向上に向けて～

静岡理工科大学公開講座
日：平成29年4月29日(日) 会場：静岡理工科大学

● 身近にICTを感じる講座を静岡理工科大学が実施
● 人工知能の向上やビッグデータの活用等で急速に発展するICTをわかりやすく伝え、
「100人が知る」(社会の未来)を市民レベルで習得し、日常生活に活かしていくことを目的に、市民
を巻き込んだICTリテラシー向上講座を静岡理工科大学が実施している。
「世界を牽引する情報技術革新の今と未来」をテーマとした
公開講座を4月29日に開催し、多くの市民が参加した。

講演1「進化が止まらない情報技術の未来を語り」
講師 静岡理工科大学 大学院 情報学専攻 准教授 池田 浩二
講演2「これからの情報技術革新と私たちの生活」
講師 静岡大学情報学センター 井上 貴博 センター長

● ICTで私たちの生活はどう変わる?
井上氏は、「これまで機械やロボットは人間の作業をサポートしてきたが、高度な速度や精度
の向上により、これからは機械が人間の作業を行うようになると予想される。人間の働きや
等も大きく変わる」と解説した。また、話題の「静大Paper」アプリを体験させるなど、
近未来の家を参加者にわかりやすく示した。

第108号 地方創生 やらまいか通信 vol.108

地域住民一体で中東圏への「住まいかた」を提案!!

多岐の子育て世代市場 住モメーカー1社出版

各市町が特色ある取り組みをPR

ひろきん遠友会 × 袋井市

袋井市の呼びかけにより「第28回ひろきん遠友会 住宅フェスティバル」に
中東圏地域の全5市町(袋井・掛川・田原・朝川・静岡・森)が初参加。
定住促進に向けた地域の魅力をPR。

H29.5.27~28 @エコリブリーナ
1,006組来場(約4,000人)
静岡県労働会館と袋井市の
「地方創生推進協定」に基づく初の取り組み
住モメーカー・金融機関・行政が一体となり
中東圏地域への定住をPR
各市町がそれぞれの子育て・教育や
定住支援など、特色ある取り組みをPR

第112号 地方創生 やらまいか通信 vol.112

トッパン・フォームズ東海株式会社
進出決定!!

次世代産業創出と防衛整備の進捗による
「内陸のフロンティアを拓く取組」の理想モデル実現へ

● 次世代産業創出により若者が魅力を感じるまちへ
● 地域の成長と発展、進出機能向上を目的とし、魅力ある地域づくりを目指す「内陸フロンティア推進協議会」への協定を受け整備中の専攻工業団地
この間、トッパン・フォームズ東海株式会社及びトッパン・フォームズサービス株式会社の
進出が決定。2019年度の進出を目指す。

● 製造拠点の集約と最新機械の導入により
生産効率向上とIoT製品等生産強化を図る
● 魅力的な次世代産業による地域雇用創出
近隣大学の学生の進路等も期待
● 専攻工業団地整備の発生土
約60万㎡を活用した防衛整備
「袋井新港の丘プロジェクト」も順調に進行

第122号 地方創生 やらまいか通信 vol.122

RUGERMAR
ラガーマー

2019RWC
開催地

静岡理工科大学情報学部が「RUGERMAR」(拡張現実)技術を開発して競技に
貢献するシステム「ラガーマー」を開発

H30.1.9 @袋井新港ロー

システムは街角のカメラ
の前に立つた人物の顔を通して、
街の風景をリアルタイムで画面
に写し出し、テレビ画面
にW杯や競技に関する情
報がランダムに映し出さ
れる仕組み。

● 街角のカメラでリアルタイムに街の風景を写し出し、テレビ画面にW杯や競技に関する情報がランダムに映し出される仕組み。

第129号 地方創生 やらまいか通信 vol.129

春休みロードショー
@下北沢トリウッド
都内での上映が決定!

Magi & Town

● 春休みロードショー
● @下北沢トリウッド
● 都内での上映が決定!

● 春休みロードショー
● @下北沢トリウッド
● 都内での上映が決定!

挑戦2 ふくろい「場のチカラ」を向上させる挑戦

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.103
輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～ 発行日：平成29年5月15日

厄除観音 法多山 尊永寺 クラウンメロン



「一飛龍ゴリやくカフェ」
① 門前ゴリやくカフェ

■法多山とクラウンメロンの相乗効果で地域活性化
法多山尊永寺の門前と境内の「ゴリやくカフェ」が、平成29年5月15日～16日までの期間「クラウンメロンカフェ」としてオープン。新作のメロンスイーツを楽しむ人々で賑わった。

- 観光客誘客と滞在時間の増加に向けた法多山門前再興のモデル事業として実施
- クラウンメロンの日プロジェクトと連携し特産物「クラウンメロン」を軸にした場所を創出
- 新作クラウンメロンスイーツを醸成し、観上りの逸品を特別な場所で味わう体験を提案

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.107
輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～ 発行日：平成29年5月15日

ライオン菓子株式会社 クラウンメロン



メロンの最高級品
クラウンメロンの味わいを、クラウンメロンの贅沢のど飴
静岡県産クラウンメロンビューレ使用
楽しめる贅沢な1のど飴です。

全国で販売開始!! ライオン菓子株式会社

キャンディー等の製造で知られる老舗菓子メーカー「ライオン菓子株式会社」が、「クラウンメロンの贅沢のど飴」を開発。5月から全国のコンビニや駅売店、スーパー等で販売を開始した。クラウンメロンビューレを使用し、贅沢さを味わえるのど飴として販売する。

- 「のど飴」への加工は初!
- クラウンメロンの持つ芳醇な味わいを再現
- 販売期間：5月中旬～9月末、全国販売
- 1個100円(本体価格)と手ごろ
- ちょっとした手土産としても利用可能

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.109
輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～ 発行日：平成29年5月15日

首都圏などで人気高まる
JA遠州中央のハクチャー



袋井の隠れた特産物!! 全国トップクラスの生産量

■そのハクチャー、実は畑産かも?
若い女性を中心に大人気!!「ハクチャー(シャツツアイ)」は、静岡県が出荷する全国トップクラスを誇る。主な産地は袋井市と藤原市で、遅熟な気候や長い日照時間を活かし、約40人が生産。この地方の特産である「産地メロン」の副産物ともまよ活用できることから、産地産地産地として注目されている。

- 収穫までの期間が比較的可短く、作業が容易
- 温度管理や土づくりは高産メロン栽培の応用
- 当地域でのハクチャー栽培は昭和56年開始
- 昭和52年頃から生産量が増加し、現在は全国トップクラスの年間約30トンを生産
- 袋井の新たな産物に「ハクチャー」登場!
- 地元産に向けて新たな入組めント

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.113
輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～ 発行日：平成29年7月14日

炭焼きレストラン さわやか クラウンメロン



静岡を代表する2大ブランドが
コラボした夏限定新作スイーツ登場!!

■特産のクラウンメロンを使った逸品をお手頃価格で
「げんこつパン(バーガ)」などで大人気の静岡を代表する地元産者のファミリーレストラン「炭焼きレストランさわやか」が、特産物の「クラウンメロン」を使用したメニューを企画、夏スイーツ企画を実施。

- 9月6日までの期間限定さわやか30店舗で実施
- 贈られた生産者のみ生産を許される高級「クラウンメロン」を贅沢に使用
- 芳醇な香りと豊かな味わいを持つ逸品
- 地元産だけでなく味わい深い爽快感!新鮮さと究極の甘さを高級に堪能

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.118
輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～ 発行日：平成29年10月20日

初の秋限定商品
「栗だんご」

法多山名物だんご



■秋限定の新商品で、四季を彩った誘客を促進
11月25、26日に法多山尊永寺で開かれる「もみじまつり」で、6,000個限定で販売。

大盛況
栗だんごは、期間限定で1,000人を越える行列!女性も、期間限定で1,000人を越える行列!

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.126
輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～ 発行日：平成29年12月14日

農工商交流会
地味な顔で「新しい農業」をつくる



2018.2.14 @ sweet & Grace

袋井市農業振興協会が農業者のニーズをもとに、農・商・工・飲食などの業者が交流し、新たなビジネスの創出を目指す「ふくろい農工商交流会」を開催。

当日は、ベテランの生産者から次世代を担う若手生産者まで、自らの農場で採れた自産の作物を持ち寄り、会場のレストランで調理された料理を共に製造業者をはじめ、小売りの食品店、飲食店の経営者のほか、デザイナーや社会福祉施設の職員らと熱心に農業の生産性向上や販路拡大に向けた意見交換が行われました。

- 第1部 農商工交流会
講演：「農業の未来 つくるための心」
講師：中野の生 侍 穂田由美氏(袋井市)
内容：農業体験をブランド化、農産品加工の活用、農産物の体験と成功の秘訣を紹介
- 第2部 ふくろい農工商交流会
つくづくばらんな交流や農産品交換を通じて、農業を応援する新たな仲間づくりや若手スタッフの創出に期待しています。
(写真上) 農商工交流会の様子

挑戦3 健康づくりをリードする袋井の新たな挑戦

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.101
発行日：平成28年4月28日

「ふくろい生涯現役促進地域連携協議会」設立



地味な顔で「産地が生産性でまらち」の実現を目指す

会長は袋井市長、副会長にはシルバー人材センター理事長を担任。平成27年度から取り組んできた「3Days Worker's Office」の取り組みを踏まえ、地域の労働者に係る主体が連携・協働し「高齢者・企業方への普及啓発、高齢者の抱い手づくり、③新しい働き方・しごとづくりを推進していくことで合意。

協議会に生じた成果
(例) 生涯現役促進地域連携協議会(産地・労働者・企業)

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.119
輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～ 発行日：平成29年12月14日

買い物に行けない悩みを解消し、
地域内消費の拡大にもつなげる



地域の店舗が連携し、「移動販売サービス」を試行開始

地域産品直売所「とれたた食楽部」と飲食店「Honeyハニー」が、地域課題を解決しようと連携し、地元食材をふんだんに使った手作り惣菜や新鮮野菜、日用品などの「移動販売サービス」をスタート。高齢者などの丁寧なコミュニケーションをとり、消費ニーズを把握し、希望の品を即座に反映するなど、きめ細やかなサービスを展開中。高齢者の見守りや農産物の産地地消の促進なども期待されている。

【サービス概要】
・旬に合わせた地域産品を多数取り扱う
・農産物の直接販売
・飲食店経営する仕入れのアプリが新鮮野菜や手作り惣菜等を販売
・サービスエリア内の希望する個人宅まで2回の頻度で訪問
・サービスエリア：田原地区(旧(サービスエリア)飯大中)

輝く「ふくろい」まち・ひと・しごと創生会議
地方創生 やらまいか通信 vol.128
輝く未来へ今、袋井が動き出す！～挑戦するDNAを呼び起こせ～ 発行日：平成30年12月14日

大人の社会科見学
即日、募集定員を超える反響ぶり



高齢者就労の促進に関心のある事業者の協力のもと、平成30年2月に計3回の社会科見学を実施。高齢者に関心が高く、募集チラシの配布(伊藤野村のみ)日には、募集定員(15名)を超える反響ぶり。参加者の感想と詳細は、裏面参照。

大人の社会科見学 大人の社会科見学 大人の社会科見学
TaskArU タスカル